

## 令和7年度昭島市立学校学校経営重点計画（教育推進計画）について

### 1 目的

- ・各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的に改善を図ること。
- ・各学校が、自己評価及び学校関係者評価の実施とその結果の説明・公表により、保護者、地域住民から自らの教育活動その他の学校運営に対する理解と参画を得て、信頼される開かれた学校づくりを進めること。
- ・教育委員会が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の必要な措置を講じることにより、教育の質を保証し、その向上を図ること。

### 2 スケジュール

学期	学 校 の 取 組		教育委員会事務局 の取組
	自己評価	学校関係者評価委員会 (学校評議員会・学校連絡協議会)	
1 学期	○学校経営方針の確認 ○学校評価計画の作成・ ホームページへの公表 ○自己評価（中間）の実施	○学校評議員（学校関係者評 価委員）の選任 ○第1回学校評議員会及び学 校連絡協議会 ・学校経営方針・学校評価 計画の説明 ○学校関係者評価の実施 ・授業参観、行事参観等	○学校評価計画の受付・ とりまとめ  ○教育委員会への前年度 学校評価結果の報告と 今年度の評価計画の報 告
2 学期	○自己評価（中間）の提出 ○児童・生徒、保護者アン ケートの実施 ○教育課程届出説明会	○学校関係者評価の実施 ・授業参観、行事参観等 ○第2回学校評議員会及び第 3回学校連絡協議会 ・自己評価（中間）報告	○自己評価（中間）の受 付 ○教育課程届出説明会
3 学期	○自己評価（年度末）の実 施 ○教育課程の作成・提出 ○学校評価結果報告書の提 出・ホームページへの公 表	○学校関係者評価の実施 ・授業参観等 ○第3回学校評議員会及び第 5回学校連絡協議会 ・自己評価（年度末）報告 ・学校関係者評価のとりま とめ	○教育課程届出相談・自 己評価結果ヒアリング ○教育課程届出受付 ○学校評価結果報告書受 付・とりまとめ ○教育委員会への報告 （翌年度）

### 3 各学校の計画

別紙による

令和7年度		昭島市立東小学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表										
学校教育目標		◎よく考える子 ◎思いやりのある子 ◎健康で明るい子	ビジョン	【目指す学校像】	○子供たちが、安全・安心に楽しく過ごせる学校　○家庭・地域と共にある学校　○子供たちが、学ぶ喜びを実感できる学校									
				【目指す児童・生徒像】	○自ら考え、主体的に学ぶ子供　○互いを尊重し、思いやりのある言動をとることができる子供　○心身ともに健康で、活力のある子供									
				【目指す教師像】	○人権感覚を磨き、子供を大切にする教師　○常に向上心を持ち、指導力の向上に努める教師　○公務員としての自覚を持ち、信頼される教師									
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策			
確かな学力	学ぶ楽しさを実感できる授業改善の推進 日常の指導の充実	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着	○指導と評価の一体化した授業 ○タブレット端末を活用した授業実践 ○学力調査の結果の分析及び授業改善推進プランの作成・実行 ○めあてを明確にし、振り返りを確実にを行い児童が主体的に学ぶ授業の実践	4   4項目全て取り組むことができた		4   90%以上の児童が授業が分かると回答								
				3   3項目は取り組むことができた		3   80%～90%未満の児童が授業が分かると回答								
				2   2項目は取り組むことができた		2   70%～80%未満の児童が授業が分かると回答								
				1   1項目は取り組むことができた		1   70%未満の児童が授業が分かると回答								
		読書に関する指導や読書の習慣化への取組を日常化した読書活動の充実	○朝読書の計画的な取組 ○読書月間の取組の充実 ○学校図書館・図書支援員の有効活用 ○授業での図書資料の活用	4   4項目全て取り組むことができた		4   95%以上の児童が読書が好きと回答								
				3   3項目は取り組むことができた		3   85%～90%未満の児童が読書が好きと回答								
				2   2項目は取り組むことができた		2   80%～85%未満の児童が読書が好きと回答								
				1   1項目は取り組むことができた		1   80%未満の児童が読書が好きと回答								
		多様性に応じた指導、インクルーシブ教育の推進	○校内委員会の充実 ○特別支援教室教員との連携 ○ユニバーサルデザインを意識した環境づくり ○個に応じた教材・教具の工夫	4   4項目全て取り組むことができた		4   90%以上の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答								
				3   3項目は取り組むことができた		3   80%～90%未満の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答								
				2   2項目は取り組むことができた		2   70%～80%未満の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答								
				1   1項目は取り組むことができた		1   70%未満の児童が授業にすすんで取り組んでいると回答								
豊かな心	自然体験活動や福祉体験、勤労体験活動等の豊かな体験の場を設定し、人と関わり合いの中で、子供の内面を育てる道徳的な指導の実践	道徳全体計画、年間計画の見直しと「特別の教科 道徳」の授業改善と充実	○教職員同士による授業参観 ○道徳的価値や内容項目を明確にし、児童の変容を見取る ○年間指導計画の確実な実施 ○全教育活動を通じた道徳教育の実施	4   4項目全て取り組むことができた		4   90%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答								
				3   3項目は取り組むことができた		3   85%～90%未満の児童が自分や友達を大切にしていると回答								
				2   2項目は取り組むことができた		2   80～85%未満の児童が自分や友達を大切にしていると回答								
				1   1項目は取り組むことができた		1   80%未満の児童が自分や友達を大切にしていると回答								
		いじめの未然防止と早期発見、早期対応を推進し、安全で安心な学校の実現	○毎学期のアンケートを生かし、スクールカウンセラーや専門機関と連携し、いじめ・不登校0の実現 ○学校いじめ対策委員会を中心とした迅速かつ密な情報共有による組織的な対応	4   アンケート実施後の個別対応100%		4   不登校(傾向を含む)人数0人								
				3   アンケート実施後の個別対応95%		3   1人								
				2   アンケート実施後の個別対応90%		2   2人								
				1   アンケート実施後の個別対応85%		1   3人								
		学校行事等を通して異年齢間の交流を深め、豊かな人間性の育成	○保育園・中学校・高等学校・高齢者等との交流体験活動の実施 ○外部講師等を活用した実践的体験活動の実施 ○学級園を活用した栽培体験学習の実施 ○縦割り班活動の充実	4   4項目全て取り組むことができた		4   90%以上の児童が学校が楽しいと回答								
				3   3項目は取り組むことができた		3   80%～90%未満の児童が学校が楽しいと回答								
				2   2項目は取り組むことができた		2   70%～80%未満の児童が学校が楽しいと回答								
				1   1項目は取り組むことができた		1   70%未満の児童が学校が楽しいと回答								
健やかな体	様々な運動を体験させて、その特性に触れた運動技能を身に付けさせる体力向上の実践及び健康教育・食育の推進	学年や学級、異年齢集団での遊びの奨励	○休み時間の外遊びの奨励 ○運動に親しみやすい環境整備 ○「東ンピック」での異学年交流遊びの充実 ○運動集会を活用した児童の運動への興味・関心の向上	4   毎週子供たちと一緒に遊ぶ時間の確保3回以上		4   90%以上の児童が遊んだり体を動かしたりすると回答								
				3   2回		3   80%～90%未満の児童が遊んだり体を動かしたりすると回答								
				2   1回		2   70%～80%未満の児童が遊んだり体を動かしたりすると回答								
				1   0回		1   70%未満の児童が遊んだり体を動かしたりすると回答								
		年間を通した体力向上への取組(「元気アップガイドブック」等の活用)	○「元気アップガイドブック」の活用及び「グッドモーニング60分」への取組 ○運動の特性を生かす体育授業改善 ○めあてが明確な学習の展開 ○オリンピック・パラリンピック大会後のレガシーを生かした取組	4   4項目全て取り組むことができた		4   90%以上の家庭が体力向上に満足と回答								
				3   3項目は取り組むことができた		3   80%～90%未満の家庭が体力向上に満足と回答								
				2   2項目は取り組むことができた		2   70%～80%未満の家庭が体力向上に満足と回答								
				1   1項目は取り組むことができた		1   70%未満の家庭が体力向上に満足と回答								
		食育の充実	○ランチルームの計画的な有効活用 ○栄養教諭や共同調理場と連携した食育の推進 ○地域人材や資源を活用した食育に関する授業の実施	4   年間で食育に関する授業の実施3回以上		4   年間の残菜率7%								
				3   2回		3   年間の残菜率8%								
				2   1回		2   年間の残菜率9%								
				1   0回		1   年間の残菜率10%								
輝く未来	人権尊重の精神を基調として心身ともに健康な児童の育成を目指し、自他の大切さを認め、人権課題について学び、権利と義務、自由と責任についての認識を深める。また、児童が未来を生きていく力の育成	一人一人のよさを生かし、意欲とまとまりのある学級集団づくり	○学級経営の振り返り・評価・改善 ○児童の考えや意見を生かした教育活動の工夫 ○学級満足度調査「Q-U」の結果を有効に生かした児童理解・学級づくり ○学級満足度調査「Q-U」の結果を有効に生かした課題の把握・改善	4   4項目全て取り組むことができた		4   QUの結果で各学級の要支援群0人								
				3   3項目は取り組むことができた		3   1人								
				2   2項目は取り組むことができた		2   2人								
				1   1項目は取り組むことができた		1   3人								
		学級活動を中心に、全教育活動におけるキャリア教育の充実	○学校生活への適応 ○仲間づくり、集団の結束 ○自ら役割の自覚 ○年間指導計画に応じたキャリア教育の実践	4   4項目全て取り組むことができた		4   90%以上の児童が得意・ものを考えると回答								
				3   3項目は取り組むことができた		3   80%～90%未満の児童が得意・ものを考えると回答								
				2   2項目は取り組むことができた		2   70%～80%未満の児童が得意・ものを考えると回答								
				1   1項目は取り組むことができた		1   70%未満の児童が得意・ものを考えると回答								
		保護者・地域と連携し、様々な活動を通して、将来への希望をもたせる	○地域人材・地域資源を活用した取組の充実 ○家庭訪問・個人面談・保護者会等での保護者との情報共有と共通理解 ○専門機関との協力・連携 ○PTA活動への理解と協力	4   4項目全て取り組むことができた		4   90%以上の児童が将来について考えると回答								
				3   3項目は取り組むことができた		3   80%～90%未満の児童が将来について考えると回答								
				2   2項目は取り組むことができた		2   70%～80%未満の児童が将来について考えると回答								
				1   1項目は取り組むことができた		1   70%未満の児童が将来について考えると回答								





令和7年度

昭島市立武蔵野小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)計画表

学校教育目標	〇しっかり考える子(問題解決力) 〇心やさしい子(人間関係形成力) 〇つよく元気な子(体力・活力)	ビジョン	【目指す学校像】	〇児童にとって充実した学校　〇保護者にとって信頼できる学校　〇教職員にとって働きがいのある学校
			【目指す児童・生徒像】	〇思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども〇感性あふれる豊かな心をもつ子ども　〇すすんで心と体を鍛えることができる子ども
			【目指す教師像】	〇ありのままの児童を受け止め、個性を発揮させる教師　〇授業で勝負できる教師　〇家庭・地域との相互理解を深め協働できる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	〇基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。	〇よく見て、よく聞き、よく考える力を培い、思考力・判断力・表現力を身に付けた子供の育成。	〇日々の定期テストや学力テストの年度始めと年度末の結果や変化を分析する。	4 全教員が指導改善を図る。		4 学期末の成績で12学級以上で学力の向上がみられえる。					
				3 80%～100%未満の教員が指導改善を図る。		3 学期末の成績で9～11学級で学力の向上がみられえる。					
				2 70%～80%未満の教員が指導改善を図る。		2 学期末の成績で6～8学級で学力の向上がみられえる。					
				1 70%未満の教員が指導改善を図る。		1 学期末の成績で5学級以下で学力の向上がみられえる。					
		〇ICTを活用した授業を充実させ、児童の「情報活用能力」の育成を図る。	〇各学年で昭島市から示されている「子供たちに身に付けさせたいICT操作能力」を把握する。	4 全教員が教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。		4 90%以上の児童がICT操作能力を身に付けている。					
				3 80%～100%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。		3 80%～90%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。					
				2 70%～80%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。		2 70%～80%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。					
				1 70%未満の教員が身に付けさせるICT操作能力を把握し、指導している。		1 70%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。					
		〇読書活動の推進と言語能力の育成に向け、学校司書及びボランティアが連携し、子供たちの読書活動の一層の推進を図る。	〇学校司書が中心となり、ボランティアや委員会の活動等で連携を図り、子供たちの読書活動の一層の推進を行う。	4 各学級で図書室を月4回以上使用した。		4 90%以上の児童が2週に1度以上図書室を利用している。					
				3 各学級で図書室を月3回以上使用した。		3 80%～90%未満の児童が2週に1度以上図書室を利用している。					
				2 各学級で図書室を月2回以上使用した。		2 70%～80%未満の児童が2週に1度以上図書室を利用している。					
				1 各学級で図書室を月1回以下使用した。		1 70%未満の児童が2週に1度以上図書室を利用している。					
豊かな心	〇相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる豊かな心を育成する。	〇児童の自己肯定感を高め、常に相手のことを考え行動することができるようにする。	〇HQU調査を年2回実施し、結果を分析することで、学級の実態に応じた指導に反映させる。	4 全教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。		4 2回目の結果で12学級以上で学級満足群の向上がみられえる。					
				3 80～100%の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。		3 2回目の結果で9～11学級で学級満足群の向上がみられえる。					
				2 70%から80%未満の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。		2 2回目の結果で6～8学級で学級満足群の向上がみられえる。					
				1 70%未満の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。		1 2回目の結果で5学級以下で学級満足群の向上がみられえる。					
		〇たてわり班活動の充実を図り、異学年交流を通して、相手意識を深めるとともに自己有用感を高める。	たてわり班活動後に6年生を中心に振り返りを行い、みんなが楽しんで取り組めたかどうかを毎時間確認し、分析する。	4 すべての教員がたてわり班活動後の振り返りの実施を確認した。		4 たてわり班活動後の振り返りから肯定的な振り返りが90%以上					
				3 70%～100%の教員がたてわり班活動後の振り返りの実施を確認した。		3 たてわり班活動後の振り返りから肯定的な振り返りが70%以上					
				2 40%～70%の教員がたてわり班活動後の振り返りの実施を確認した。		2 たてわり班活動後の振り返りから肯定的な振り返りが50%以上					
				1 40%未満の教員がたてわり班活動後の振り返りの実施を確認した。		1 たてわり班活動後の振り返りから肯定的な振り返りが30%以上					
		〇いじめを許さない心情を育て、いじめの早期発見解決に努める。	〇年3回の学校生活アンケートにおいて、みんながよりよく生活できるように関する項目を設定し、実施する。	4 全教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。		4 学校生活アンケート調査の関連項目から90%以上					
				3 80%～100%未満の教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。		3 学校生活アンケート調査の関連項目から70%以上					
				2 70%～80%未満の教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。		2 学校生活アンケート調査の関連項目から50%以上					
				1 70%未満の教員がいじめの定義に対する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。		1 学校生活アンケート調査の関連項目から30%以上					
健やかな体	〇自分の心と体の健康に関心をもち、基礎的な体力と心身の育成と向上を図る。	〇児童体力・運動能力、生活運動習慣の向上に向け、運動の習慣化を図り、体力の向上を推進する。	〇体力向上プロジェクトや短なわや長なわの取組を実施し、運動することの楽しさやよさを味わわせる。	4 全教員が計画を活用した指導を行った		4 調査結果が昨年比平均ポイントから+2ポイント以上					
				3 80%～100%未満の教員が計画を活用した指導を行った		3 調査結果が昨年比～+2ポイント					
				2 70%～80%未満の教員が計画を活用した指導を行った		2 調査結果が昨年比-2ポイント以内					
				1 70%未満の教員が計画を活用した指導を行った		1 調査結果が昨年比-2ポイント以下					
		〇規則正しい生活と健康・安全に留意できる児童の姿を目指す。	〇毎学期実施する「すまいるカード」の取組の結果を集計し、日々の指導改善に努める。	4 全教員が計画的な指導を実施した		4 90%以上の児童が目標を達成している					
				3 80%から100%未満の教員が計画的に指導した		3 80%～90%未満の児童が目標を達成している					
				2 70%から80%の教員が計画的に指導した		2 70%～80%未満の児童が目標を達成している					
				1 70%未満の教員が計画的に指導した		1 70%未満の児童が目標を達成している					
		〇食に関する望ましい食習慣の形成を促進する。	〇学校給食やお弁当の日を通して食の大切さを考えさせる。	4 全教員が食育の指導及びアンケート調査を行った。		4 90%以上の児童が食の大切さを実感している。					
				3 80%～100%未満の教員が食育の指導及びアンケート調査を行った。		3 80%～90%未満の児童が食の大切さを実感している。					
				2 70%～80%未満の教員が食育の指導及びアンケート調査を行った。		2 70%～80%未満の児童が食の大切さを実感している。					
				1 70%未満の教員が食育の指導及びアンケート調査を行った。		1 70%未満の児童が食の大切さを実感している。					
輝く未来	〇子供たちが自立し、未来社会を切り開くための資質能力を身に付け、多様な人との関わりの中でコミュニケーション能力の育成を図る。	〇幼保・小中が連携し、児童が安心して進級・進学できるようにする。	〇幼保小中連携教育の推進を図るとともに、学期始めに「キャリアアルバム」を作成し、目標をもって生活を送れるようにする。	4 全教員が方策を実施した		4 90%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。					
				3 80%～100%未満の教員が方策を実施した		3 80%～90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。					
				2 70%～80%未満の教員が方策を実施した		2 70%～80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。					
				1 70%未満の教員が方策を実施した		1 70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。					
		〇教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。	〇文化、スポーツ、高齢者、外国人、地域工場・店舗等での学びの場を各学年設定する。	4 全学年の教員が交流体験を実施した		4 全学年で外部人材を活用した授業を行った。					
				3 80%～100%未満の学年・教員が交流体験を実施した		3 9学級以上で外部人材を活用した授業を行った。					
				2 70%～80%未満の学年・教員が交流体験を実施した		2 6学級以上で外部人材を活用した授業を行った。					
				1 70%未満の学年・教員が交流体験を実施した		1 4学級以上で外部人材を活用した授業を行った。					
		〇家庭・地域の声を活かすとともに学校の教育活動を情報発信していく。	〇学校HPや学校だより等を通じて保護者や地域に向けて児童の活動等を発信したり、行事や学校公開の際にアンケートを取り、改善を図っていく。	4 各行事の実施を受け、すべての行事でアンケートを実施した。		4 80%以上の保護者が教育活動への理解を示している。					
				3 各行事の実施を受け、7割程度の行事でアンケートを実施した。		3 50%以上の保護者が教育活動への理解を示している。					
				2 各行事の実施を受け、5割程度の行事でアンケートを実施した。		2 20%以上の保護者が教育活動への理解を示している。					
				1 各行事の実施を受け、3割程度の行事でアンケートを実施した。		1 20%未満の保護者が教育活動への理解を示している。					



令和7年度		昭島市立玉川小学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表	
学校教育目標	◎精いっぱい学習する子 ○人のためにつくす子 ○すすんで体をきたえる子	ビジョン	【目指す学校像】	○最大限 子供の健やかな学びを保障する学校	
			【目指す児童・生徒像】	○自らの人生を自らの力で切り拓き、持続可能な社会の創造を担う人材 ～Think Globally.Act locally.～	
			【目指す教師像】	○認め合い・支え合い・高め合うチームである教師	

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	「分かること・できることが楽しい」 基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、思考力、判断力、表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う。	主体的・対話的で深い学びを実現する授業を工夫し、自らすすんで学習に取り組む児童を育成する。	授業づくりの基本の20項目をまとめた「玉小授業力スタンダード」に基づき、授業改善を行う。	4	「玉小授業力スタンダード」を20項目の5割を達成した教員が60%以上	4	授業で1日に1回以上手を挙げている児童が70%以上				
				3	「玉小授業力スタンダード」を20項目中5割を達成した教員が50%以上	3	授業で1日に1回以上手を挙げている児童が50%以上				
				2	「玉小授業力スタンダード」を20項目中5割を達成した教員が40%以上	2	授業で1日に1回以上手を挙げている児童が30%以上				
				1	「玉小授業力スタンダード」を20項目中5割を達成した教員が40%未満	1	授業で1日に1回以上手を挙げている児童が30%未満				
		インクルーシブ教育の推進とユニバーサルデザインに基づく教室環境を整備し、落ち着いた学習を受けられる環境をつくる。	昭島ユニバーサルデザインに基づく教室環境を整備し、落ち着いて学習を受けられる環境をつくる。	4	教室環境を整備した教員が80%以上	4	先生の書く黒板が分かりやすい児童が70%以上				
				3	教室環境を整備した教員が70%以上	3	先生の書く黒板が分かりやすい児童が60%以上				
				2	教室環境を整備した教員が60%以上	2	先生の書く黒板が分かりやすい児童が50%以上				
				1	教室環境を整備した教員が60%未満	1	先生の書く黒板が分かりやすい児童が50%未満				
豊かな心	「みんなと仲良くできて楽しい」 道徳教育の充実を図り、人権尊重の精神を醸成し、共に認め高め合い、学校は楽しいと実感できる児童の育成を目指す。	道徳的諸価値について、「価値・人間・他者」理解を深め、自己の生き方を見つめ直す道徳科授業の充実を図る。	互いを認め合う道徳授業を行い、思いやりの心をもって行動できる児童を育成する。	4	道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が80%以上	4	学級の誰とでも協力して活動ができる児童が70%以上				
				3	道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が70%以上	3	学級の誰とでも協力して活動ができる児童が50%以上				
				2	道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が60%以上	2	学級の誰とでも協力して活動ができる児童が30%以上				
				1	道徳諸価値を意識して道徳科授業を行っている教員が60%未満	1	学級の誰とでも協力して活動ができる児童が30%未満				
		チーム玉小でアセスメントを丁寧に行い、いじめ・不登校・自殺等の未然防止、早期解決を図る。	SOSカードを活用し、児童と教職員がコミュニケーションを深め、安心して登校できる環境をつくる。	4	SOSカードを児童に作成させた教員が80%以上	4	自分や友達のよさを認めてくれる学級と答えた児童が80%以上				
				3	SOSカードを児童に作成させた教員が70%以上	3	自分や友達のよさを認めてくれる学級と答えた児童が60%以上				
				2	SOSカードを児童に作成させた教員が60%以上	2	自分や友達のよさを認めてくれる学級と答えた児童が40%以上				
				1	SOSカードを児童に作成させた教員が60%未満	1	自分や友達のよさを認めてくれる学級と答えた児童が40%未満				
健やかな体	「心も体も弾んで楽しい」 からがだ計画的に体力向上を推進し、心身ともに健康な児童の育成を目指す。	心身ともに健康で、自己管理のできるたくましい児童の育成を目指す。	「グッドモーニング60分」の活用において、「見通し」と「振り返り」を行う。	4	活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が80%以上	4	「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が70%以上				
				3	活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が60%以上	3	「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が60%以上				
				2	活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が40%以上	2	「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が50%以上				
				1	活用で「見通し」と「振り返り」を行った教員が40%未満	1	「グッドモーニング60分」を意識して生活している児童が50%未満				
		授業・休み時間を効果的に活用し、自ら楽しみながら体力向上を図る児童を育成する。	教職員も休み時間に校庭に出て、外遊びを児童と共にを行い、共に遊び、模範を示す。	4	中休みに校庭で児童と活動した教員が70%以上	4	晴れた日には外遊びをしている児童が70%以上				
				3	中休みに校庭で児童と活動した教員が60%以上	3	晴れた日には外遊びをしている児童が60%以上				
				2	中休みに校庭で児童と活動した教員が50%以上	2	晴れた日には外遊びをしている児童が50%以上				
				1	中休みに校庭で児童と活動した教員が50%未満	1	晴れた日には外遊びをしている児童が50%未満				
輝く未来	「みんなの役に立てて楽しい」 自己有用感を感じる機会を通して、自分には良いところがあると感じる子供を育成するとともに、キャリア教育を推進し、社会貢献力の育成を図る。	「昭島市民科」として、生活科・総合的な学習の時間の年間計画を立て、地域社会に貢献できる児童を育成する。	地域人材を活用した授業を行い、地域と学校が共にWin-winの関係をつくる。	4	地域人材を活用した授業を行った教員が80%以上	4	自分は地域の役に立っていると回答した児童が70%以上				
				3	地域人材を活用した授業を行った教員が60%以上	3	自分は地域の役に立っていると回答した児童が60%以上				
				2	地域人材を活用した授業を行った教員が40%以上	2	自分は地域の役に立っていると回答した児童が50%以上				
				1	地域人材を活用した授業を行った教員が40%未満	1	自分は地域の役に立っていると回答した児童が50%未満				
		児童が主体的に取り組む活動を意図的・計画的に行い、主権者としての意識を高める。	児童会・委員会・学級活動の充実を図り、主体的態度・学校を創造する態度を育成する。	4	児童が主体的に取り組む活動を行った教員が70%以上	4	学校や学級のために係や委員会に取り組んでいる児童が70%以上				
				3	児童が主体的に取り組む活動を行った教員が60%以上	3	学校や学級のために係や委員会に取り組んでいる児童が60%以上				
				2	児童が主体的に取り組む活動を行った教員が50%以上	2	学校や学級のために係や委員会に取り組んでいる児童が50%以上				
				1	児童が主体的に取り組む活動を行った教員が40%未満	1	学校や学級のために係や委員会に取り組んでいる児童が50%未満				

令和7年度

昭島市中神小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)計画表

学校教育目標	◎よく考える子(すすんで学び考え、あきらめずに問題に取り組む子供) ◎心豊かな子(やさしい心で、自分も他人も大切にすること子供) ◎たくましい子(すすんで体を鍛え、粘りつよく行動する子供)	ビジョン	【目指す学校像】	○全ての子どもの良さ・可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校
			【目指す児童・生徒像】	○自己肯定感をもって自己発揮でき、自分や他人の良さが分かり、大切にできる子供
			【目指す教師像】	○様々な教育課題に適切に対応し、経営参画意識をもって職層に応じた役割を果たしながらチーム力を高めることができる教師集団

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	学力向上との関連を図った探究的な学びの充実	日常の授業の充実を図るため、基礎的な知識・技能の習得を図る授業の在り方を追究する。	自分の苦手分野を知り、解決や克服の努力をすることで学びを深めるようにする。	4   全教科・領域で実施する。		4   全学年の90%以上が実施できた。					
				3   90%以上の教科・領域で実施する。		3   全学年の80%以上で実施できた。					
				2   80%以上の教科・領域で実施する。		2   全学年の70%以上で実施できた。					
				1   実施した教科・領域が80%未満である。		1   全学年の70%未満しか実施できなかった。					
		生活科・総合的な学習の時間及び各教科において問題解決学習を行い、学力向上を図る。	児童が「是非、解決してみたい。」「追究してみたい。」と感じる実践を展開する。	4   生活科・総合的な学習の時間以外に、2教科以上で実践する。		4   授業にすすんで参加できたと思える児童が80%以上					
				3   生活科・総合的な学習の時間以外に、1教科で実践する。		3   授業にすすんで参加できたと思える児童が70%以上					
				2   生活科・総合的な学習の時間のみで実践する。		2   授業にすすんで参加できたと思える児童が60%以上					
				1   問題解決的な学習が実践できなかった。		1   授業にすすんで参加できたと思える児童が60%未満					
		協働的な学びを推進するため、児童が意欲的に取り組む授業実践を行う。	学んだことを生かした対話・アウトプットを豊かに取り入れ、個々の知識・技能を活用できるようにする。	4   全学級が取組を行っている。		4   安心して学校に通えていると感じる児童が80%以上					
				3   12学級以上が取組を行っている。		3   安心して学校に通えていると感じる児童が70%以上					
				2   8学級以上が取組を行っている。		2   安心して学校に通えていると感じる児童が60%以上					
				1   取組を行っている学級が10学級未満である。		1   安心して学校に通えていると感じる児童が60%以上					
豊かな心	児童の自尊感情・自己肯定感の更なる向上を図り、積極的に社会に関わる人材を育成する。	人権尊重の精神に基づき、いじめのない学級、いじめがなく毎日安心して登校できる学校づくりを行う。	様々な個性が認められる学級づくり、気持ちの良い挨拶や言葉掛けを互いに行い、安心感のある学校を児童とともにつくる。	4   全学級が取組を行っている。		4   すずんで活動に取り組んだと思える児童が90%以上					
				3   12学級以上が取組を行っている。		3   すずんで活動に取り組んだと思える児童が80%以上					
				2   10学級以上が取組を行っている。		2   すずんで活動に取り組んだと思える児童が70%以上					
				1   取組を行っている学級が10学級未満である。		1   すずんで活動に取り組んだと思える児童が70%未満					
		偏見と差別を許さず、多様性を認め合う人権教育を推進する。	道徳教育や各教科との関連を図りながら人権教育を進める。	4   全学級が道徳科や教科と関連させた人権教育を実践している。		4   人権感覚が高まったと思う児童が90%以上					
				3   12学級以上が道徳科と関連させた人権教育を実践している。		3   人権感覚が高まったと思う児童が80%以上					
				2   道徳科や教科と関連させた人権教育を行っている学級がある。		2   人権感覚が高まったと思う児童が70%以上					
				1   道徳科や教科と関連させた人権教育を行っている学級10学級以下である。		1   人権感覚が高まったと思う児童が70%未満					
		思いやりをもち人やもの・こととの関わりを豊かにする教育を推進する。	言語活動の充実、読書指導の充実を図り、自己肯定感の醸成と豊かな心を生み出す風土を築く。	4   全学級が充実した取組を行っている。		4   すずんで活動に取り組んだと思える児童が90%以上					
				3   12学級以上が取組を行っている。		3   すずんで活動に取り組んだと思える児童が80%以上					
				2   10学級以上が取組を行っている。		2   すずんで活動に取り組んだと思える児童が70%以上					
				1   充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		1   すずんで活動に取り組んだと思える児童が70%未満					
健やかな体	総合的な体力向上と日常的な健康教育の重視を図りながら、心身ともに健康な子どもを育てる教育	総合的な体力向上と日常的な健康教育の充実を図る。	授業や体育的行事を充実させ、目標をもって自己の体力を向上させる児童を育成する。	4   全学級が充実した取組を行っている。		4   「よく体を動かしている。」児童が80%以上					
				3   12学級以上が取組を行っている。		3   「よく体を動かしている。」児童が70%以上					
				2   10学級以上が取組を行っている。		2   「よく体を動かしている。」児童が60%以上					
				1   充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		1   「よく体を動かしている。」児童が60%未満					
		自分の身は自分で守り、困難を乗り越えるたくましい心を育む。	体力向上の取組の中で自己の体力を知り、めあてをもって努力する気持ちや危険を回避する能力を養う。	4   全学級が充実した取組を行っている。		4   困難を乗り越えたと思える児童が90%以上					
				3   12学級以上が取組を行っている。		3   困難を乗り越えたと思える児童が80%以上					
				2   10学級以上が取組を行っている。		2   困難を乗り越えたと思える児童が70%以上					
				1   充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		1   困難を乗り越えたと思える児童が70%未満					
		心身ともに健康な子どもものの育成を図る。	体幹を意識した運動や食育指導の取組を通して心身の健康を保つ大切さを理解し、すすんで取り組む。	4   全学級が取組を行っている。		4   すずんで取り組む児童・家庭が90%以上					
				3   11学級以上が取組を行っている。		3   すずんで取り組む児童・家庭が80%以上					
				2   9学級以上が取組を行っている。		2   すずんで取り組む児童・家庭が70%以上					
				1   取組を行っている学級が10学級未満である。		1   すずんで取り組む児童・家庭が70%未満					
輝く未来	世界に目を向け、正解のない問題に立ち向かう力を育成する。	郷土昭島に対する愛着や誇りをもち、積極的に良さを発信する子供を育成する。	地域の素材や人材の活用、伝統文化、自然との関わりから昭島の良さを捉え、積極的に発信できるようにする。	4   全学級が取組を行っている。		4   伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が90%以上					
				3   12学級以上が取組を行っている。		3   伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が80%以上					
				2   10学級以上が取組を行っている。		2   伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が70%以上					
				1   取組を行っている学級が10学級未満である。		1   伝統文化や郷土への愛着を抱いた児童が70%未満					
		未知の事柄や学習に対して自分なりに見通しやめあてをもって取り組んでいける能力を育む。	自分が設定した課題に対して見通しをもって解決し、保護者や地域に発信することができる。	4   全学級が充実した取組を行っている。		4   学んだことを保護者や地域に発信できたと思える児童が90%以上					
				3   12学級以上が取組を行っている。		3   学んだことを保護者や地域に発信できたと思える児童が80%以上					
				2   10学級以上が取組を行っている。		2   学んだことを保護者や地域に発信できたと思える児童が70%以上					
				1   充実した取組を行っている学級が10学級未満である。		1   学んだことを保護者や地域に発信できたと思える児童が70%未満					
		地域や保護者の願いを教育活動に取り入れ、「地域とともにある学校づくり」を推進する。	多様化するニーズに応えながら教育活動を進め、地域社会構築への参画を図る児童を育成する。	4   全学級が参画を考えさせている。		4   実践意欲を抱いた児童が90%以上					
				3   12学級以上が取組を行っている。		3   実践意欲を抱いた児童が80%以上					
				2   10学級以上が取組を行っている。		2   実践意欲を抱いた児童が70%以上					
				1   参画を考えさせた学級が10学級未満である。		1   実践意欲を抱いた児童が70%未満					

令和7年度		昭島市立つつじが丘小学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表									
学校教育目標		だれもが笑顔になる学校		ビジョン	【目指す学校像】	○楽しい学びの共同体							
					【目指す児童・生徒像】	○自ら学び、表現する子    ○認め合い、協力して行動する子    ○すすんで体を整える子							
					【目指す教師像】	○当事者意識をもって学校づくりを行う教師    ○組織で考え、組織で動くことができる教師							
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標		評価	成果指標		評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら行う、主体的・対話的な学びの実現	教員一人一人が課題意識をもって主体的に取り組む校内研究(特別活動)を充実させ、授業力の向上を図る。	主体的な授業改善を図るために、学期ごとに行う授業観察で1回以上特別活動を実施し、お互いに観察し合う。	4	90%以上の教員が授業と公開に取り組んだ。		4	児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が95%以上					
				3	85%以上の教員が授業と公開に取り組んだ。		3	児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が90%以上					
				2	80%以上の教員が授業と公開に取り組んだ。		2	児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が85%以上					
				1	80%未満の教員が授業と公開に取り組んだ。		1	児童アンケート「学校の授業の内容が分かりやすい」が85%未満					
		学ぶことの楽しさを実感させる授業を積み重ね、主体的、対話的で深い学びによる学力向上を推進する。	GIGA端末やICTを利用した授業スタイルを確立し、児童自身に課題意識をもたせて対話的な学びを進める。個別最適な学習を展開していく。	4	8割以上の授業でICTを活用するなど、児童主体の個別最適な学習を実施した。		4	児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が90%以上肯定的					
				3	7割以上の授業でICTを活用するなど、児童主体の個別最適な学習を実施した。		3	児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が80%以上肯定的					
				2	6割以上の授業でICTを活用するなど、児童主体の個別最適な学習を実施した。		2	児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が70%以上肯定的					
				1	5割以上の授業でICTを活用するなど、児童主体の個別最適な学習を実施した。		1	児童アンケート「タブレットが勉強の役に立っている」が30%以上否定的					
		児童の学力を把握し、実態に即した授業改善を行うことで、学力の向上を図る。	授業改善推進プランを活用したり、単元ごとの3観点評価を計画的に行ったりすることで、指導と評価の一体化を意識した授業を実践する。	4	90%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。		4	児童アンケート「授業に対して、すすんで取り組んでいる」が90%以上					
				3	85%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。		3	児童アンケート「授業に対して、すすんで取り組んでいる」が80%以上					
				2	80%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。		2	児童アンケート「授業に対して、すすんで取り組んでいる」が70%以上					
				1	70%以上の教員が計画的に授業の評価に取り組んだ。		1	児童アンケート「授業に対して、すすんで取り組んでいる」が70%未満					
豊かな心	自分と共に他者を大切にする態度や、社会の一員であるという自覚と規範意識の育成	自発的に挨拶をする態度を養い、挨拶が自然に通い合う学級、学校をつくる。	年度内の学校生活目標に3度ほど挨拶を取り上げたり、児童会を中心とした挨拶運動に取り組ませたりして、挨拶指導の強化を図る。	4	全教職員が日常的に指導した。		4	児童アンケート「自分や友達を大切にしていますか。」が90%以上					
				3	90%以上の教員が日常的に指導した。		3	児童アンケート「自分や友達を大切にしていますか。」が85%以上					
				2	80%以上の教員が日常的に指導した。		2	児童アンケート「自分や友達を大切にしていますか。」が80%以上					
				1	80%未満の教員が日常的に指導した。		1	児童アンケート「自分や友達を大切にしていますか。」が80%未満					
		組織的な道德教育の推進により、児童一人一人が自らを振り返ることで、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。	道德教育の全体計画や年間指導計画を見直し、道德推進教師を中心に、道德科の授業改善と道德授業地区公開講座の実施を計画する。	4	90%以上の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。		4	児童アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」が95%以上					
				3	85%以上の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。		3	児童アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」が90%以上					
				2	80%以上の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。		2	児童アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」が85%以上					
				1	80%未満の教員が授業後の振り返りと改善に取り組んだ。		1	児童アンケート「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」が85%未満					
		心の安全を保障する指導体制を確立し、児童一人一人が安心して、過ごすことができる学校にする。	人権教育プログラムやいじめ総合計画に基づいた組織的な取組により、月に1回以上いじめ対策委員会を開く。また、年に3回以上「いじめに関する授業」を実施する。	4	全教員が3回以上「いじめに関する授業を行った。		4	児童アンケート「学校で落ち着いて安心して生活できていますか。」が90%以上					
				3	90%が3回以上「いじめに関する授業を行った。		3	児童アンケート「学校で落ち着いて安心して生活できていますか。」が85%以上					
				2	80%が3回以上「いじめに関する授業を行った。		2	児童アンケート「学校で落ち着いて安心して生活できていますか。」が80%以上					
				1	80%未満が3回以上「いじめに関する授業を行った。		1	児童アンケート「学校で落ち着いて安心して生活できていますか。」が80%未満					
健やかな体	自ら体を整え、健全な生活を築こうとする児童の育成	児童の実態に基づいた体力の課題を分析し、全校的取組により体力向上を目指す。	昨年度の体力調査の結果分析から、筋持久力と走力、敏捷性に課題があることが分かった。敏捷性の向上をテーマにし、元氣アップガイドブックの運動内容を参考にして、元氣アップタイムを実施する。	4	全校児童が参加した。		4	体力テストの結果で4学年以上が敏捷性で市平均以上					
				3	90%以上の児童が参加した。		3	体力テストの結果で3学年以上が敏捷性で市平均以上					
				2	80%以上の児童が参加した。		2	体力テストの結果で2学年以上が敏捷性で市平均以上					
				1	70%以上の児童が参加した。		1	体力テストの結果で2学年未満が敏捷性で市平均以上					
		基本的な生活習慣を定着させ、児童の健康意識の向上と日常的な行動を促す。	元氣アップガイドブックや保健便り、給食便りを活用して生活リズムカード(グッドモーニング60)に取り組む、児童が自身の生活の振り返りを行う。	4	全学級で記録と振り返りを行った。		4	児童アンケート「これまでの自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う」95%以上					
				3	90%以上の学級で記録と振り返りを行った。		3	児童アンケート「これまでの自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う」90%以上					
				2	80%以上の学級で記録と振り返りを行った。		2	児童アンケート「これまでの自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う」85%以上					
				1	70%以上の学級で記録と振り返りを行った。		1	児童アンケート「これまでの自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う」85%未満					
		児童の危険予知能力を育成し、危険を回避する能力を向上させる。	安全教育プログラム等を活用した安全指導を日常的に行う。また、事前に十分指導した上で、予告なしの避難訓練を毎月実施する。	4	全教員が日常的に指導を行った。		4	児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が90%以上					
				3	90%以上の教員が日常的に指導した。		3	児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が85%以上					
				2	80%以上の教員が日常的に指導した。		2	児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が80%以上					
				1	80%未満の教員が日常的に指導した。		1	児童アンケート「安全や健康についての知しきを生活の中で生かしている」が80%未満					
輝く未来	人間関係調整力と自己有用感をもち、積極的に他者と関わろうとする児童の育成	様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら自己実現を図ったり、より良い人間関係を形成したりできるようにする。	児童が自主的に活動できるように、「特別活動 大人の10の流儀」を意識し、学級会を軸とした話し合い活動を充実させる。	4	全教員が話し合い活動を充実させた。		4	児童アンケート「話し合う時間にすすんで参加している」が95%以上					
				3	90%以上の教員が話し合い活動を充実させた。		3	児童アンケート「話し合う時間にすすんで参加している」が90%以上					
				2	80%以上の教員が話し合い活動を充実させた。		2	児童アンケート「話し合う時間にすすんで参加している」が80%以上					
				1	70%以上の教員が話し合い活動を充実させた。		1	児童アンケート「話し合う時間にすすんで参加している」が80%未満					
		児童と教職員とが知恵を出し、工夫した学校行事を生み出し、児童に達成感や連帯感、自己有用感をもたせる。	児童会や実行委員会活動を活性化し、児童が主体的に取り組めるスポーツ及びアートフェスティバルの計画を立て、実施する。	4	90%以上の児童が楽しく参加した。		4	児童アンケート「行事の満足度」が90%以上					
				3	80%以上の児童が楽しく参加した。		3	児童アンケート「行事の満足度」が80%以上					
				2	70%以上の児童が楽しく参加した。		2	児童アンケート「行事の満足度」が70%以上					
				1	60%以上の児童が楽しく参加した。		1	児童アンケート「行事の満足度」が60%未満					
		体験的な学習を意図的に計画し、問題の解決や探求活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えさせる。	ゲストティーチャーや出前授業等、人と関わる体験的活動を計画的に実施する。また、コミュニティスクールの利点を生かし、地域の学習材を各学年で活用する。	4	全学年が体験的活動を実施した。		4	児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が98%以上					
				3	5つの学年が体験的活動を実施した。		3	児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が95%以上					
				2	4つの学年が体験的活動を実施した。		2	児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が90%以上					
				1	3つの学年が体験的活動を実施した。		1	児童アンケート「学校の授業は分かりやすい」が90%未満					



令和7年度		昭島市立光華小学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表		◎子供たちの未来に焦点をあてた学校教育の推進											
学校教育目標		◎すすんでする子 ○健康な子 ○考える子 ○協力する子		ビジョン	【目指す学校像】	子供一人一人の『幸せ(ウェルビーイング)』を具現化する学校＋教職員一人一人の『働きがい』を具現化する学校											
					【目指す児童・生徒像】	どの共同体でも力を発揮できる子(2030/2040年の日本を生きる子供たちへ) cfエージェンシー(社会を変革する力)の育成											
					【目指す教師像】	子供の幸せを念頭に、教育者としての熱意とスキルを併せ持つ教師											
R7 重点項目 ※赤字は新規内容																	
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標		評価	成果指標		評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策				
確かな学力	主体的な学びの推進を通して、児童・教師が「光華遊学」の成果を実感する	対話力の向上	①対話を取り入れた授業づくり ②対話に必要な児童のスキル向上	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童が話合って学ぶことは楽しいと回答		昭島市アンケート・学校アンケートから評価							
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童が話合って学ぶことは楽しいと回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童が話合って学ぶことは楽しいと回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童が話合って学ぶことは楽しいと回答									
		問題解決型学習の推進	①新しい学びの推進 ②ファシリテーションを意識した授業づくり	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答									
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答									
		教育DXの推進	①教師自身のスキル向上 ②児童の情報活用能力向上	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童がタブレットは役に立つと回答									
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童がタブレットは役に立つと回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童がタブレットは役に立つと回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童がタブレットは役に立つと回答									
豊かな心	多様な見方・考え方を受け入れたり、自ら楽しさ(ワクワク・ドキドキ)を見い出す心のクセを身に付ける	多様性を認め合う心の醸成	①多様な意見や考え方を受け入れる機会の充実 ②意見や考えを出せる安心心の醸成	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答		昭島市アンケートから評価							
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答									
		感性を豊かにする教育の充実	①感性や体験活動を重視した教育の充実 ②読書活動の充実	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答									
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童が「本や音楽や図工、自然が好きです」と回答									
		特別支援教育の充実	①特別支援教育の充実(スキル活用、連携含む) ②児童への理解啓発	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童がいろいろな人がいてよい、と回答									
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童がいろいろな人がいてよい、と回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童がいろいろな人がいてよい、と回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童がいろいろな人がいてよい、と回答									
健やかな体	自らの健康を保持・増進する生活習慣の定着	体を動かす喜びの実感(「遊び」の重視)	①体育の授業改善 ②元気アップタイムの推奨	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答		昭島市アンケートから評価							
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童が「学校で遊んだり体を動かしている」と回答									
		生活習慣の改善	①GM60の推進 ②食育の推進	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答									
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答									
		自他の「性・生命」の尊重	①いじめ防止の推進 ②命を大切にする教育(包括的性教育)の推進	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答									
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答									
輝く未来	agencyの獲得	「まず、やってみる！」精神の浸透	①まずやってみる習慣の形成 ②周囲に役立つ喜びの重視	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童が「やってみることを大切にしている」と回答		学校アンケートから評価 (参考:hyper QU結果)							
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童が「やってみることを大切にしている」と回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童が「やってみることを大切にしている」と回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童が「やってみることを大切にしている」と回答									
		他者や地域と「つながる」喜びの実感	①外部人材の活用 ②目的を明確にした各行事の充実	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答									
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答									
		自己理解力の向上	①「心をとめる」指導の充実 ②学習の自己評価活動	4	2項目に取り組み成果を上げた		4	90%以上の児童が「心をとめることを大切にしている」と回答									
				3	2項目に取り組むことができた		3	80%以上の児童が「心をとめることを大切にしている」と回答									
				2	1項目は取り組むことができた		2	70%以上の児童が「心をとめることを大切にしている」と回答									
				1	全く取り組めなかった		1	60%以上の児童が「心をとめることを大切にしている」と回答									

令和7年度		昭島市立成隣小学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表								
学校教育目標		○すすんで学ぶ子 ○心豊かな子 ○たくましい子		ビジョン	【目指す学校像】	人も自分も大切に、みんなが輝く成隣小						
					【目指す児童・生徒像】	互いを認め合い協力し合いながら課題を解決し、児童一人一人が前向きに学校生活を送っている						
					【目指す教師像】	自身の知識・技能の向上に努め、学校の実践力、「チーム成隣」としての組織力を向上させている						
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	◎主体的に学習に取り組む児童を育成する。 ・児童による目標の設定と振り返りを重視し、基礎的な知識・技能を習得させる。 ・児童一人一人に注目し成長を支援する。 ・経験や体験を深める活動を重視する。	児童の学習に対する目的意識を大切にし、自身の学びを実感できる授業を実施する。	①学習のめあての提示 ②振り返りを実施 ③ICT機器の活用	4 全ての教員が、児童が主体的な授業を行った		4 児童アンケート「すすんで学習」9割以上						
				3 8割以上の教員が、児童が主体的な授業を行った		3 児童アンケート「すすんで学習」8割以上						
				2 7割の教員が、児童が主体的な授業を行った		2 児童アンケート「すすんで学習」7割以上						
				1 児童が主体的な授業を行った教員が7割以下であった		1 児童アンケート「すすんで学習」7割未満						
		子供たちが経験や体験を深める活動を十分に設定する。	外部講師、地域人材を活用した授業を各学年、学期に2回以上実施する。	4 年間6回以上の外部講師、地域人材を活用した授業を行う		4 児童アンケート「授業が楽しい」9割以上						
				3 年間4回以上の外部講師、地域人材を活用した授業を行う		3 児童アンケート「授業が楽しい」8割以上						
				2 年間2回以上の外部講師、地域人材を活用した授業を行う		2 児童アンケート「授業が楽しい」7割以上						
				1 年間2回以下の外部講師、地域人材を活用した授業を行う		1 児童アンケート「授業が楽しい」7割未満						
		日常的な書く活動を通して思いを表す力を向上させる。	①年2回以上、書く活動の授業観察を実施 ②週一回、朝学習時に書く活動の実施	4 週一回、朝学習時に書く活動の実施9割以上		4 児童アンケートで「書くことが楽しい」が9割以上						
				3 週一回、朝学習時に書く活動の実施7割以上		3 児童アンケートで「書くことが楽しい」が7割以上						
				2 週一回、朝学習時に書く活動の実施5割以上		2 児童アンケートで「書くことが楽しい」が5割以上						
				1 週一回、朝学習時に書く活動の実施5割以下		1 児童アンケートで「書くことが楽しい」が5割未満						
豊かな心	◎互いを認め、協力し合う児童の育成する。  ・児童の言語環境を整え、人権感覚を高める。 ・互いを認め合い、物事を共に創造する体験的な活動を重視する。 ・互いに支え合う、よりよい関係を大切にした活動を重視する。	あいさつを基本とした教師と児童、児童間の良好なコミュニケーションを築く。	元気に挨拶する児童を増やすため、学級経営の充実と特別活動の推進を図る。	4 挨拶運動の年4回以上の実施		4 児童アンケートで「すすんであいさつする」が9割以上						
				3 挨拶運動の年3回の実施		3 児童アンケートで「すすんであいさつする」が7割以上						
				2 挨拶運動の年2回の実施		2 児童アンケートで「すすんであいさつする」が5割以上						
				1 挨拶運動の年1回以下の実施		1 児童アンケートで「すすんであいさつする」が5割未満						
		児童が個々のよさを発揮して成長できる学級集団・学年集団を形成する。	①キャリアパスポートの活用 ②QUテストの活用	4 全ての学級でQUテストの結果を活用した。		4 2回目のQUの結果で安定感のある学級が3割以上						
				3 9割以上の学級でQUテストの結果を活用した。		3 2回目のQUの結果で安定感のある学級が2割以上						
				2 8割以上の学級でQUテストの結果を活用した。		2 2回目のQUの結果で安定感のある学級が1割以上						
				1 QUテストの結果を活用した学級が8割以下だった。		1 2回目のQUの結果で安定感のある学級が1割未満						
		児童の言語環境を整え、いじめ問題の未然防止と早期解消に全職員で取り組む。	①いじめ防止授業の実施 ②外部講師を招いてのいじめ防止研修会の実施	4 外部講師を招いての研修を年3回以上実施した。		4 社会通念上のいじめ件数の前年比2割以上の減少						
				3 外部講師を招いての研修を年2回実施した。		3 社会通念上のいじめ件数の前年比1割以上の減少						
				2 外部講師を招いての研修を年1回実施した。		2 社会通念上のいじめ件数の前年とほぼ同水準						
				1 実施できなかった。		1 社会通念上のいじめ件数の1割以上の増加						
健やかな体	◎心身を鍛え正しい判断で行動する児童の育成する。  ・児童による目標の設定と振り返りを重視し、基礎的な知識及び技能を習得させる。 ・児童一人一人への注目と成長を支援する。 ・経験や体験を深める活動を重視する。	日常的な運動を通して体力を向上させる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け	4 全教員が体力向上プランを活用した指導を行った		4 児童アンケートで「運動が楽しい」が8割以上						
				3 8割以上の教員がプランを活用した指導を行った		3 児童アンケートで「運動が楽しい」が7割以上						
				2 7割以上の教員がプランを活用した指導を行った		2 児童アンケートで「運動が楽しい」が6割以上						
				1 7割未満の教員がプランを活用した指導を行った		1 児童アンケートで「運動が楽しい」が6割未満						
		健康で安全な生活のために必要な生活習慣を身に付けさせる。	①グッドモーニング60分の推進 ②元気アップガイドブックを活用	4 全教員が元気アップカードを活用した指導を行った		4 8割以上の児童がグッドモーニング60の目標を達成している						
				3 8割以上の教員が元気アップカードを活用した指導を行った		3 7割以上の児童がグッドモーニング60の目標を達成している						
				2 7割以上の教員が元気アップカードを活用した指導を行った		2 6割以上の児童がグッドモーニング60の目標を達成している						
				1 7割未満の教員が元気アップカードを活用した指導を行った		1 6割未満の児童がグッドモーニング60の目標を達成している						
		安全教育を系統的に進め、自分の命を自分で守る力を育む。	①安全教育全体計画改訂(8月・2月) ②避難訓練の改善(年11回) ③安全指導日の指導(年11回)	4 全ての教員が、安全指導を計画的に行った		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上						
				3 8割の教員が、安全指導を計画的に行った		3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上						
				2 7割の教員が、安全指導を計画的に行った		2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上						
				1 6割の教員が、安全指導を計画的に行った		1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下						
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。  ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。	各学年で外部人材を活用した授業を新規に計画する	4 全学年で新規外部人材を活用した授業を実施した		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上						
				3 7割以上の学年で新規外部人材を活用した授業を実施した		3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上						
				2 5割以上の学年で新規外部人材を活用した授業を実施した		2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上						
				1 新規外部人材を活用した授業を実施した学年が5割未満		1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下						
		保護者ともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。	地域と連携し、挨拶運動や安全見守り活動の強化を行う。	4 地域と年4回以上の連携ができた		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上						
				3 地域と年3回以上の連携ができた		3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上						
				2 地域と年2回以上の連携ができた		2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上						
				1 地域との連携は年2回以下だった		1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下						
		HPやメールを活用した情報発信力を強化する。	1学期中にHPのリニューアルを行い、週1回以上の更新を行う。	4 毎日HPを更新する		4 HPのPVが年間10000回以上						
				3 週に一回以上更新する		3 HPのPVが年間7000回以上						
				2 月に一回以上更新する		2 HPのPVが年間5000回以上						
				1 更新が月に一回以下		1 HPのPVが年間5000回以下						

令和7年度		昭島市立田中小学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表															
学校教育目標		○よく考える子 ◎思いやりのある子 ○たくましい子	ビジョン	【目指す学校像】	道徳教育を基盤として魅力ある学校をつくる。														
				【目指す児童・生徒像】	「た・な・か」の子　【　た：たくましい子　　な：仲良くする子　　か：かしこく考える子　の：のびる子　こ：個性豊かな子　】														
				【目指す教師像】	「た(Timemanagement=時間管理)・な(Navigator=誘導者・航海士)・か(kindness=思いやり・親切)」を意識し職務を励行する教師														
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策								
確かな学力	基礎・基本を大切に 分ける授業を実践し、主 体的・意欲的に学び、 基礎的な知識及び技 能等を確実に習得さ せる。	個々の学習状況を正 しく把握し、読む・書 く・計算する力を身に 付けさせる。	授業、ベーシックドリル、くじ らーニング、日常のテスト、補 習教室、宿題・家庭学習等を 充実させる。	4   漢字、計算の定着が86%以上		4   全国学力 国・算全国平均 -1.5pt													
				3   漢字、計算の定着が83%以上		3   全国学力 国・算全国平均 -3.0pt以上													
				2   漢字、計算の定着が81%以上		2   全国学力 国・算全国平均 -4.5pt以上													
		1   漢字、計算の定着が81%未満	1   全国学力 国・算全国平均 -6.0pt未満																
		4   全校で冊子のUDチェック実施11回以上	4   児童評価 分かりやすい授業90%以上																
		3   全校で冊子のUDチェック実施10回以上	3   児童評価 分かりやすい授業88%以上																
		2   全校で冊子のUDチェック実施9回以上	2   児童評価 分かりやすい授業86%以上																
		1   全校で冊子のUDチェック実施年9回未満	1   児童評価 分かりやすい授業86%未満																
		4   各学年家庭学習実施率90%以上	4   児童評価「家庭学習30分」80%以上																
		3   各学年家庭学習実施率85%以上	3   児童評価「家庭学習30分」75%以上																
		2   各学年家庭学習実施率80%以上	2   児童評価「家庭学習30分」70%以上																
		1   各学年家庭学習実施率80%未満	1   児童評価「家庭学習30分」70%未満																
豊 か な 心	人権意識を高め、自他 を尊重する態度を醸成 するとともに、集団の一 員である自覚、規範意 識等を育てる。	児童の道徳性を醸成 する。	道徳科の特質に即した授 業を行うとともに、全教育活 動を通して道徳教育を推 進する。								4   特質に即した道徳授業を全学級で実施		4   児童評価「思いやりの心で行動」が86%以上						
											3   特質に即した道徳授業を9割の学級で実施		3   児童評価「思いやりの心で行動」が83%以上						
				2   特質に即した道徳授業を8割の学級で実施	2   児童評価「思いやりの心で行動」が80%以上														
1   特質に即した道徳授業を7割の学級で実施	1   児童評価「思いやりの心で行動」が80%以上																		
4   年3回以上実施した	4   児童評価「男女の別なく仲良く」90%以上																		
3   年2回実施した	3   児童評価「男女の別なく仲良く」85%以上																		
2   年1回実施した	2   児童評価「男女の別なく仲良く」80%以上																		
1   実施できなかった	1   児童評価「男女の別なく仲良く」80%未満																		
4   交流計画の実施率90%以上	4   児童評価「学校生活は楽しい」が88%以上																		
3   交流計画の実施率85%以上	3   児童評価「学校生活は楽しい」が85%以上																		
2   交流計画の実施率80%以上	2   児童評価「学校生活は楽しい」が82%以上																		
1   交流計画の実施率80%未満	1   児童評価「学校生活は楽しい」が82%以上		あおば(通常級)・ふたば(知 的固定)・わかば(情緒固定) の計画に基づく交流活動 を充実させる。																
健 や か な 体	日常的な運動を通して 体力を向上させるとと もに、健康で安全な生 活のために必要な生 活習慣や食習慣を身 に付けさせる。										日常 的な運動を通して 体力を向上させる。	元気アップガイドブックを 活用して体力向上のための 体育的な活動を行う。	4   児童評価「運動に意欲的」85%以上		4   体力調査のA,B,C判定の児童が65%以上				
													3   児童評価「運動に意欲的」80%以上		3   体力調査のA,B,C判定の児童が60%以上				
		2   児童評価「運動に意欲的」75%以上	2   体力調査のA,B,C判定の児童が55%以上																
1   児童評価「運動に意欲的」75%未満	1   体力調査のA,B,C判定の児童が50%未満		健康で安全な生活の ために必要な生活習 慣を身に付けさせる。	グッドモーニング60分 (GM60分)を推進して健康 教育を行う。		4   GM60分達成率が全児童の80%以上													
3   健康教育の授業を年2回実施	3   GM60分達成率が全児童の77%以上																		
2   健康教育の授業を年1回実施	2   GM60分達成率が全児童の72%以上																		
1   健康教育の授業を未実施	1   GM60分達成率が全児童の72%未満		健康で安全な生活の ために必要な食習慣 を身に付けさせる。	望ましい食習慣を身に付け るための給食やお弁当(食 育)の日の指導を推進す る。		4   児童評価「食育の活用」81%以上													
3   食育の指導を年2回実施	3   児童評価「食育の活用」79%以上																		
2   食育の指導を年1回実施	2   児童評価「食育の活用」77%以上																		
1   食育の指導を未実施	1   児童評価「食育の活用」77%未満		地域・家庭との信頼関 係を構築するとともに、 児童の豊かな人間性 や人間関係調整力を 高める教育活動を推 進する。	将来の夢を児童にもた せる。		4   保護者評価「将来を考えさせている」85%以上													
3   児童評価「将来を考える」83%以上	3   保護者評価「将来を考えさせている」83%以上																		
2   児童評価「将来を考える」80%以上	2   保護者評価「将来を考えさせている」80%以上																		
1   児童評価「将来を考える」80%未満	1   保護者評価「将来を考えさせている」80%以上		学校からの情報発信を 積極的に行う。	学校便りの発行・メール配 信を月1回以上、HPの更 新を月3回以上行う。		4   HPの更新75回以上													
3   8月を除く10ヶ月で実施	3   HPの更新70回以上																		
2   8月を除く9ヶ月で実施	2   HPの更新65回以上																		
1   8月を除く8ヶ月で実施	1   HPの更新60回未満		集団の中での自分の 役割を理解し、すすん で行動する力を育む。	リーダーシップやフォロ ワーシップについて理解さ せ、すすんで実践する児 童を育てる。		4   児童評価「生活をよりよくする」86%以上													
3   集団内での役割の指導を9割の教員が実施	3   児童評価「生活をよりよくする」83%以上																		
2   集団内での役割の指導を8割の教員が実施	2   児童評価「生活をよりよくする」80%以上																		
1   集団内での役割の指導を7割未満の教員が実施	1   児童評価「生活をよりよくする」80%未満																		



令和7年度		昭島市立拝島第一小学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表	
学校教育目標	○ やさしく(徳) ○ 強 く(体) ○ よく考え(知)  手をつなぐ拝島の子	ビ ジ ョ ン	【目指す学校像】	○ 生き生きと学び、達成感を味わえる学校 ○ 安心して子供を預けられる信頼できる学校 ○ 働きがいのある学校(教職員にとって)□	
			【目指す児童・生徒像】	○ 心身ともに健康な子 ○ 主体的・対話的で深い学びのできる子 ○ 互いに認め合い高め合う子	
			【目指す教師像】	○ 教育公務員としての自覚をもち使命を果たすために、絶えず研究と修養に努め、児童のために誠心誠意職務に励む教師	

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善を行うとともに、「個別最適な学び」「協働的な学び」の確立を目指す。	めあての明確化と指導と評価の一体化の確実な取組、学習の個性化・指導の個別化の充実、カリキュラムマネジメントの実施	・児童の興味関心を高め、単元や本時のめあてを学級で共有して進める主体的な学習 ・毎時間の評価を明確化し、児童の学習評価を基に、展開を工夫する学習 ・問題解決的、探究的な学習の実施 ・児童の実態把握、学力調査の分析、授業改善プラン作成、カリキュラムマネジメントの実施	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が身に付いたと回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が身に付いたと回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が身に付いたと回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が身に付いたと回答			
				4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が身に付いたと回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が身に付いたと回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が身に付いたと回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が身に付いたと回答			
		基礎的基本的な学力を身に付けるための取り組みの強化	・児童の実態に合った学習スタンダードの見直しと取組の徹底 ・基礎学力を高める朝学習の内容・取組の工夫 ・学年に応じた本選びと読書を習慣化できる取組の工夫 ・家庭学習の意味を考え、児童が自発的に自身の力を高める内容の工夫と習慣付け	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が身に付いたと回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が身に付いたと回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が身に付いたと回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が身に付いたと回答			
特別支援教育の視点を活かした環境整備の充実、困り感のある児童に焦点を当てた授業改善の推進	・個に応じた指導及びUDを意識した学習展開(焦点化・視覚化・共有化) ・UDを意識した学習環境の整備(板書・見通し・掲示刺激・机上や持ち物の整理) ・個に応じた個別の支援の充実 ・保護者との共通理解、協同実践	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が身に付いたと回答					
		3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が身に付いたと回答					
		2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が身に付いたと回答					
		1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が身に付いたと回答					
豊かな心	自分も仲間も大切にし、お互いのよさ(多様性)を認め合い、相手を思いやる心を育て、楽しい学校生活を実感し、自己の生き方を見つめ高めようと努力できることのできる児童の育成を目指す。	人権教育を通して、自ら考え、振り返り、日常生活に活かし、互いに認め合い・高め合うことのできる実践の工夫	・よさを認め、互いに必要とされる実感がもてる学級経営 ・価値を明確にし、自己と向き合う場面を大切にした道徳授業の工夫 ・人権教育の推進 ・全教育活動に関連付けた指導	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が身に付いたと回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が身に付いたと回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が身に付いたと回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が身に付いたと回答			
		いじめの未然防止と早期対応を推進し、問題行動に素早く気付き対応し、安心して通える学校運営の実現	・人権教育プログラム、いじめ防止対策を活用した実践の充実 ・生活指導連絡会での情報共有と、素早い対応、報道相の徹底 ・いじめ対策委員会の定期的開催と、現状の把握未然防止指導、素早い対応の実施 ・ふわふわ言葉、励まし言葉の日常的な取組	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が身に付いたと回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が身に付いたと回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が身に付いたと回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が身に付いたと回答			
		人や自然、文化との関わりを通して、本物と出会い自尊感情や自己有用感を高める実践への取組	・ゲストティーチャーによる学びの充実 ・実践、体験的活動の充実 ・栽培体験活動の実施 ・縦割り班活動における関わりの充実	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が体験学習は楽しいと回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が体験学習は楽しいと回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が体験学習は楽しいと回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が体験学習は楽しいと回答			
健やかな体	健康で安全な生活について自ら考え、行動できる児童、また仲間と協力して実践したり、すすんで挑戦しようとする、心身ともに健康でたくましい児童の育成を目指す。	心身ともに健康で、安全に過ごすために、自己管理できることを助ける取組	・グッドモーニング60分の取組の充実と日常化 ・ノーマディア習慣の取組の充実と日常化 ・安全・防災教育の実施と、振り返りの確実な実施 ・チャレンジ精神、ルール尊重、ファエプレーの大切さを指導・実践	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が安全健康についていかすと回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が安全健康についていかすと回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が安全健康についていかすと回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が安全健康についていかすと回答			
		一人一人が自らの体力を知り、自分に合った方法を考え、体力向上を目指すことのできる取組の推進	・自らの体力を知り、あきらめず挑戦し、身体を動かす楽しさを味わえる体育学習の工夫 ・元氣アップガイドブックを活用した、体力運動能力調査の分析と、具体的な取り組みの推進 ・体育朝会の取組と授業での活用 ・擇一小びくでの運動遊びの体験から、遊びの日常化への工夫(学活含む)	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が体力付いていると回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が体力付いていると回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が体力付いていると回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が体力付いていると回答			
		食の大切さや健康について学び、自らの健康について考えることのできる取組	・お弁当の日に自ら栄養について考えたり、食の大切さについて考えたりする活動 ・保健指導、保健学習を充実させ、自分の体についての学ぶ機会の充実 ・健康教育(性犯罪・がん教育等)への取組 ・学校栄養士等の講師を招聘して、健康について考え実践できる活動の工夫	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童がお弁当の日工夫できたと回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童がお弁当の日工夫できたと回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童がお弁当の日工夫できたと回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童がお弁当の日工夫できたと回答			
輝く未来	自分のよさを見付け、仲間と協力して活動し、苦手なことにも失敗を恐れず取り組み、役に立つ喜びを自信につなげ自己肯定感を高め、未来に向けて夢と希望をもち実現しようと努力する(ウェルビーイング)児童の育成を目指す。	学級会活動をはじめ、全教育活動における、キャリア教育の充実	・学級活動を通して学校生活を仲間と高める活動への充実 ・係活動、委員会活動、クラブ活動、縦割り班活動の自主的な取組の充実 ・児童の自己肯定感、有用感を高める活動の工夫 ・年間指導計画に応じた、キャリア教育実践の充実(キャリアパムの活用)	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が自分の得意なことを考えると回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が自分の得意なことを考えると回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が自分の得意なことを考えると回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が自分の得意なことを考えると回答			
		DXを目指し、ICT機器の適切な活用の工夫と、ネットのかかわり方を学び、正しく使えるようにする取組	・タブレット端末の意図的・計画的な活用 ・デジタル教科書や、インターネット等、児童の主体的な活用を促す指導の工夫 ・情報モラル教育の確実な実施 ・SNS学校ルールの見直しと保護者への周知を行い、適切なデジタルデバイス利用の推進	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が自分の得意なことを考えると回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が自分の得意なことを考えると回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が自分の得意なことを考えると回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が自分の得意なことを考えると回答			
		地域とのかかわり、世界とのかかわりや、持続可能な社会づくりを意識した取組	・地域人材や環境を活用した学習の充実 ・生活科見学、社会科見学、校外学習を通して、地域のよさや結び付きを学ぶ学習の充実 ・幼保連携、伝統文化、国際交流等を、生活科・総合的な学習の時間に位置付け実践する ・福祉や環境教育等をはじめとするSDG'sを意識した活動の取組	4	4項目全て取り組むことができた。		4	90%以上の児童が身に付いたと回答			
				3	3項目は取り組むことができた		3	80%～90%未満の児童が身に付いたと回答			
				2	2項目は取り組むことができた。		2	70%～80%未満の児童が身に付いたと回答			
				1	1項目しか取り組めなかった。		1	70%未満の児童が身に付いたと回答			

令和7年度		昭島市立拝島第二小学校		学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】								
学校教育目標		○よく考える子(知) ◎心ゆたかな子(情) ○元気な子(意)(体)	ビジョン	【目指す学校像】		○「子供の成長」を教育活動の中核に置き、連携・協働する学校　○「チーム」一丸で教育活動を推進する学校						
				【目指す児童・生徒像】		○自らの人生(運命)を自らの力で切り拓き、これからの社会の創造を担える児童～グローバルに考え、ローカルに実践する子～						
				【目指す教師像】		○「チーム拝二」の一員として、自らすすんで学び、高め合い、協働して職務を遂行する教師　○子供のよさや可能性を伸ばせる教師集団						
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標		評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	(知) 自ら学び考え判断し、協働して問題を解決することができる児童の育成	日々の授業を充実させ、全国学力・学習状況調査の平均正答率の引き上げを図る。	「授業改善推進プラン」を基に、児童が自身の学びの成果を実感できるように指導する。	4	8割以上の教職員が、「授業改善推進プラン」に基づく指導を行った。		4	学力調査の平均正答率が国比OP				
				3	7割以上の教職員が、「授業改善推進プラン」に基づく指導を行った。		3	学力調査の平均正答率が国比-1P				
				2	6割以上の教職員が、「授業改善推進プラン」に基づく指導を行った。		2	学力調査の平均正答率が国比-2P				
				1	6割未満の教職員が、「授業改善推進プラン」に基づく指導を行った。		1	学力調査の平均正答率が国比-3P				
		言葉の力で獲得した知識を生かして、自分の思いを論理的に表現できる児童を育成する。	指導計画のPDCAサイクル化を図り、児童が考えを深め、表現する場を意図的・計画的に設定する。	4	8割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。		4	「思考・判断・表現」の評価B以上70%以上				
				3	7割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。		3	「思考・判断・表現」の評価B以上60%以上				
				2	6割以上の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。		2	「思考・判断・表現」の評価B以上50%以上				
				1	6割未満の教職員が、児童が考えを深め表現する場の設定を計画的に行った。		1	「思考・判断・表現」の評価B以上50%未満				
		学んだことを日常生活に生かしたり、自分の周りの社会に役立てたりしようとする児童を育成する。	各教科、特別活動、特別の教科 道徳を中心に、教育活動全体を通して児童が自己分析で課題を設定し、自ら挑戦できる場を設定する。	4	8割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。		4	授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童70%以上				
				3	7割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。		3	授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童60%以上				
				2	6割以上の教職員が、授業実践における振り返りを行った。		2	授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童50%以上				
				1	6割未満の教職員が、授業実践における振り返りを行った。		1	授業で学んだことを生活や社会に生かそうとする児童50%未満				
豊かな心	(情) 自らの良さを見つめ、他者を尊重し、共により良く生きようとする児童の育成	不登校児童を減らし、全ての児童が安心して登校できる学校にする。	①不登校アセスメントの実施 ②「のびのびルーム」の効果的な活用 ③温かい学級づくりによる不登校の未然防止	4	8割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。		4	不登校の出現回数2割減少				
				3	7割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。		3	不登校の出現回数1割減少				
				2	6割以上の教職員が、不登校対策に取り組んだ。		2	不登校の出現回数増減なし				
				1	6割未満の教職員が、不登校対策に取り組んだ。		1	不登校の出現回数増加				
		児童の自己有用感、思いやりや協調性、コミュニケーション能力の向上を図る。	「拝二小学級カスタンダード ver.2」を基に、児童自らが学校生活を築けるようにする。児童会選挙を実施する。	4	8割以上の教職員が、異学年交流・学級会を行った。		4	自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童70%以上				
				3	7割以上の教職員が、異学年交流・学級会を行った。		3	自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童60%以上				
				2	6割以上の教職員が、異学年交流・学級会を行った。		2	自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童50%以上				
				1	6割未満の教職員が、異学年交流・学級会を行った。		1	自分たちで学級・学校を創っていると感じる児童50%未満				
		学校の決まりを守る風土を創り上げる。	学校の決まりの意味・意義を理解させ、守らせる。	4	8割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。		4	学校のきまりを守っていると回答する児童70%以上				
				3	7割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。		3	学校のきまりを守っていると回答する児童60%以上				
				2	6割以上の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。		2	学校のきまりを守っていると回答する児童50%以上				
				1	6割未満の教職員が共通理解をもって、生活指導に取り組んだ。		1	学校のきまりを守っていると回答する児童50%未満				
健やかな体	(体) 自らすすんで心と体をきたえ、たくましく生きる児童の育成	日々の授業の充実を基に、体育の授業が好きな児童を増やす。	体育研修を実施し、体育科の授業の充実を図る。体力向上旬間を設定する。	4	8割以上の教職員が、体育研修を活用した指導を行った。		4	運動が好きになったと回答する児童70%以上				
				3	7割以上の教職員が、体育研修を活用した指導を行った。		3	運動が好きになったと回答する児童60%以上				
				2	6割以上の教職員が、体育研修を活用した指導を行った。		2	運動が好きになったと回答する児童50%以上				
				1	6割未満の教職員が、体育研修を活用した指導を行った。		1	運動が好きになったと回答する児童50%未満				
		児童の課題に応じた様々な運動に親しませる場を設定し、運動能力の向上を図る。	体力調査の結果に基づく課題分析・解決策の共通理解と共通実践をする。コーディネーションントレーニングを実施する。	4	8割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。		4	Tスコアを都平均以上にする。				
				3	7割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。		3	Tスコアを都平均にする。				
				2	6割以上の教職員が、体力向上のための取組を実施した。		2	Tスコアを都平均より-1%にとどめる。				
				1	6割未満の教職員が、体力向上のための取組を実施した。		1	Tスコアを都平均より-2%にとどめる。				
		家庭と連携して、児童の基本的な生活習慣の向上を目指す。	「元気アップガイドブック」や「すっきりカード」を計画的に活用し、児童自身が生活改善の大切さを意識し実感できるようにする。	4	8割以上の児童が、「すっきりカード」を計画的に活用した。		4	生活改善を実感する児童70%以上				
				3	7割以上の児童が、「すっきりカード」を計画的に活用した。		3	生活改善を実感する児童60%以上				
				2	6割以上の児童が、「すっきりカード」を計画的に活用した。		2	生活改善を実感する児童50%以上				
				1	6割未満の児童が、「すっきりカード」を計画的に活用した。		1	生活改善を実感する児童50%未満				
輝く未来	(意) 自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げることができる児童の育成	自ら学び、自ら考える力やより良く課題を解決し、自分の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。	総合的な学習の時間や各教科等の授業において、教科横断的・探究的な学習の充実を図る。	4	8割以上の教職員が、探究的な学習の授業実践に取り組んだ。		4	主体的に学習していると回答する児童70%以上				
				3	7割以上の教職員が、探究的な学習の授業実践に取り組んだ。		3	主体的に学習していると回答する児童60%以上				
				2	6割以上の教職員が、探究的な学習の授業実践に取り組んだ。		2	主体的に学習していると回答する児童50%以上				
				1	6割未満の教職員が、探究的な学習の授業実践に取り組んだ。		1	主体的に学習していると回答する児童50%未満				
		●SDGsの達成のために社会を変革する主体者として、家庭生活から変えていこうとする態度を育てる。 ●地域人材を活用し、人との関わりの中で学ぶ機会を充実させる。	●SDGsの達成のために、家庭生活を実際に改善しようとする行動に移すことができる児童を育成する。 ●地域人材を活用した体験活動を実施し、社会貢献しようとする児童を育成する。	4	8割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。		4	社会貢献しようとする児童70%以上				
				3	7割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。		3	社会貢献をしようとする児童60%以上				
				2	6割以上の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。		2	社会貢献をしようとする児童50%以上				
				1	6割未満の教職員が、地域人材を活用した体験活動を実施した。		1	社会貢献をしようとする児童50%未満				
		体験活動を充実させ、社会の多様な課題への関心・意欲を高める。	昭島市版「キャリアアルバム」を活用して、児童が自らの将来に、夢をもてるように指導する。	4	8割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。		4	将来への夢や希望がもてたと実感できる児童80%以上				
				3	7割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。		3	将来への夢や希望がもてたと実感できる児童60%以上				
				2	6割以上の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。		2	将来への夢や希望がもてたと回答する児童50%以上				
				1	6割未満の教職員が、キャリアアルバムを活用した指導を行った。		1	将来への夢や希望がもてたと回答する児童50%未満				



令和7年度		昭島市立拝島第三小学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表	
学校教育目標	○かしこく(よく考え 工夫する子) ◎やさしく(自他を大切にする子) ○つよく(明るく 元気な子)	ビジョン	【目指す学校像】	・全ての児童の良さ・可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校。	
			【目指す児童・生徒像】	・自己肯定感をもって自己発揮でき、自他ともに良さが分かり、大切にできる児童。	
			【目指す教師像】	・様々な教育課題に適切に対応し、経営参画意識をもち、職層に応じた役割を果たしながらチーム力を高めることができる教師集団	

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標		評価	成果指標		評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	児童が「分かった、できた」と喜びのある授業の実践により、学力の向上を図る。	主体的・対話的で深い学び、問題解決学習や探究学習の充実に取り組む。	①单元ごとに問題解決学習や探究学習の徹底 ②授業の振り返りの質の向上 ③「学習スタンダード」の徹底	4	全ての教員が、児童が主体的な授業を行った		4	児童アンケートで「主体的に学習した」が8割以上					
				3	8割以上の教員が、児童が主体的な授業を行った		3	児童アンケートで「主体的に学習した」が7割以上					
				2	7割の教員が、児童が主体的な授業を行った		2	児童アンケートで「主体的に学習した」が6割以上					
				1	児童が主体的な授業を行った教員が7割以下であった		1	児童アンケートで「主体的に学習した」が6割未満					
		授業のユニバーサルデザイン化を推進し、学習意欲と学力の向上を図る。	①どの児童にも優しい教室環境 ②どの児童にも優しい学習環境 ③どの児童にも分かる授業	4	ユニバーサルデザインチェックリストの全てに取り組んだ。		4	児童アンケートで「分かりやすい」が8割以上					
				3	ユニバーサルデザインチェックリストの8割以上に取り組んだ。		3	児童アンケートで「分かりやすい」が7割以上					
				2	ユニバーサルデザインチェックリストの7割以上に取り組んだ。		2	児童アンケートで「分かりやすい」が6割以上					
				1	ユニバーサルデザインチェックリストの7割以下にしか取り組めなかった。		1	児童アンケートで「分かりやすい」が6割未満					
		タブレットPCの積極的な活用とキャリア教育の推進。	①各学習場面に相応しいICT機器の利用 ②キャリア・パスポートに関わる指導(年3回以上)	4	全ての教員が、各学習場面に相応しいICT機器を用いた授業を行った。		4	児童アンケートで「有効活用できた」が8割以上					
				3	8割の教員が、各学習場面に相応しいICT機器を用いた授業を行った。		3	児童アンケートで「有効活用できた」が7割以上					
				2	7割教員が、各学習場面に相応しいICT機器を用いた授業を行った。		2	児童アンケートで「有効活用できた」が6割以上					
				1	6割の教員が、各学習場面に相応しいICT機器を用いた授業を行った。		1	児童アンケートで「有効活用できた」が6割未満					
豊かな心	児童の自尊感情や自己有用感の向上を図る。	自尊感情の精神に基づき、いじめがない学級、学校づくり。	①様々な個性が認められる学級づくり ②「オアシス」の挨拶 ③より良い人間関係を築く言語環境	4	全学級が取組を行った。		4	すすんで活動に取り組んだと思える児童が8割以上					
				3	17学級以上が取組を行った。		3	すすんで活動に取り組んだと思える児童が7割以上					
				2	15学級以上が取組を行った。		2	すすんで活動に取り組んだと思える児童が6割以上					
				1	13学級以上が取組を行った。		1	すすんで活動に取り組んだと思える児童が6割未満					
		教育活動全体を通して、道徳的实践力を身に付ける。	①児童が考え議論する道徳 ②情報モラルについての指導	4	全ての教員が、道徳の時間の指導を改善した		4	児童アンケートで「学校が楽しい」が8割以上					
				3	8割の教員が、道徳の時間の指導を改善した		3	児童アンケートで「学校が楽しい」が7割以上					
				2	7割の教員が、道徳の時間の指導を改善した		2	児童アンケートで「学校が楽しい」が6割以上					
				1	6割の教員が、道徳の時間の指導を改善した		1	児童アンケートで「学校が楽しい」が6割未満					
		学校図書館を活用し、読書の啓発に取り組む。	①学校図書館の利用(週1回) ②読書旬間の実施(年3回) ③音読や読み聞かせなどの工夫	4	全ての学級が、週1回以上学校図書館を利用した。		4	年間30冊以上の本を借りた児童が8割以上					
				3	8割の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。		3	年間30冊以上の本を借りた児童が7割以上					
				2	7割の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。		2	年間30冊以上の本を借りた児童が6割以上					
				1	6割の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。		1	年間30冊以上の本を借りた児童が6割未満					
健やかな体	総合的な体力の向上と日常的な健康教育の重視を図りながら、心身ともに健康な児童の育成をする。	運動能力テストの結果を基に作成する体力向上プランに基づき、系統的な指導を進める。	①体力向上プラン ②休み時間に外遊びの励行 ③運動週間の活用	4	全教員が体力向上プランを活用した指導を行った。		4	児童アンケートで「運動が楽しい」が8割以上					
				3	8割以上の教員がプランを活用した指導を行った。		3	児童アンケートで「運動が楽しい」が7割以上					
				2	7割以上の教員がプランを活用した指導を行った。		2	児童アンケートで「運動が楽しい」が6割以上					
				1	7割未満の教員がプランを活用した指導を行った。		1	児童アンケートで「運動が楽しい」が6割未満					
		日常的な運動習慣の確立を図り、健康な生活を目指す。	①元気アップガイドブックの活用 ②「グッドモーニング60分」の家庭への啓発と学期初めなどの取組	4	全教員が元気アップガイドブックを活用した指導を行った。		4	児童アンケートで「健康な生活を送れた」が8割以上					
				3	8割以上の教員が元気アップガイドブックを活用した指導を行った。		3	児童アンケートで「健康な生活を送れた」が7割以上					
				2	7割以上の教員が元気アップガイドブックを活用した指導を行った。		2	児童アンケートで「健康な生活を送れた」が6割以上					
				1	6割以上の教員が元気アップガイドブックを活用した指導を行った。		1	児童アンケートで「健康な生活を送れた」が6割未満					
		安全教育を系統的に進め、自分の命は自分で守る力を育む。	①安全指導の充実(安全教育プログラムの活用等) ②避難訓練の工夫・充実	4	全ての教員が、安全指導を計画的に行った。		4	保護者による学校評価において肯定的評価が8割以上					
				3	9割の教員が、安全指導を計画的に行った。		3	保護者による学校評価において肯定的評価が7割以上					
				2	8割の教員が、安全指導を計画的に行った。		2	保護者による学校評価において肯定的評価が6割以上					
				1	7割の教員が、安全指導を計画的に行った。		1	保護者による学校評価において肯定的評価が6割未満					
輝く未来	将来を見つめ、社会を担う「たくましい昭島っ子」の育成をする。	学級や学校の課題を見い出し、より良く解決するために、話し合って合意形成する力を育む。	①学級会活動(年10回以上) ②良い話し手・聴き手育成へ計画的指導	4	全ての学級が、計画的に実施した。		4	児童アンケートで「話し合いが楽しい」が8割以上					
				3	8割以上の学級が、計画的に実施した。		3	児童アンケートで「話し合いが楽しい」が7割以上					
				2	7割以上の学級が、計画的に実施した。		2	児童アンケートで「話し合いが楽しい」が6割以上					
				1	6割以上の学級が、計画的に実施した。		1	児童アンケートで「話し合いが楽しい」が6割未満					
		異学年交流や学校行事などで創り上げる喜びをもたせる。	①係活動や縦割り班活動などの充実 ②学校行事において実行委員会などの活用	4	全ての教員が意識して指導に当たった。		4	児童アンケートで「学校行事が楽しかった」が8割以上					
				3	8割以上の教員が、意識して指導に当たった		3	児童アンケートで「学校行事が楽しかった」が7割以上					
				2	7割以上の教員が、意識して指導に当たった		2	児童アンケートで「学校行事が楽しかった」が6割以上					
				1	6割以上の教員が、意識して指導に当たった		1	児童アンケートで「学校行事が楽しかった」が6割未満					
		地域など外部人材や文化財を活用したり、保護者や地域と連携した取組を行う。	①全学年で外部人材や文化財を活用した授業を行う。 ②PTAや地域と連携し安全見守り活動を行う。	4	全学級で連携した授業を行った。		4	児童アンケートで「地域と関わって良かった」が8割以上					
				3	8割以上の学級で連携した授業を行った。		3	児童アンケートで「地域と関わって良かった」が7割以上					
				2	7割以上の学級で連携した授業を行った。		2	児童アンケートで「地域と関わって良かった」が6割以上					
				1	6割以上の学級で連携した授業を行った。		1	児童アンケートで「地域と関わって良かった」が6割未満					



令和7年度		昭島市立昭和中学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表								
学校教育目標		夢への挑戦 ～ 広げよう可能性 高めよう創造性 ～		ビジョン		【目指す学校像】	(1)知・徳・体をバランスよく育む学校。(2)人間環境・生活環境が整った安心・安全な学校。(3)元気な挨拶や歌声が響く活気ある学校 (4)家庭・地域とのつながりを大切にする学校。					
						【目指す児童・生徒像】	(1)自ら考え深く学ぶ生徒。(2)自他ともに大切にできる生徒。(3)自分を表現しつつ互いに認め合える生徒。(4)社会性が身についている生徒。					
						【目指す教師像】	(1)豊かな人間性を備え、生徒の班となれる教師。(2)生徒と正面から向き合い、信頼される教師。(3)授業力が高い教師。(4)組織の一員として学校運営に貢献できる教師。					
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策	
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学ぶ態度の育成と学びに向かう力と人間性等を養う。	教師・生徒共に授業規律の維持・向上を図る。	①全授業で昭和中学校授業スタンダードの実践徹底。	4   9割以上でスタンダードにより規律維持。 3   8割以上でスタンダードにより規律維持。 2   5割以上でスタンダードにより規律維持。 1   スタンダードによる規律維持は5割未満		4   「楽しくも規律がある授業である」90%以上。 3   「楽しくも規律がある授業である」70%以上。 2   「楽しくも規律がある授業である」50%以上。 1   「楽しくも規律がある授業である」50%未満。						
		思考力・判断力・表現力の育成を図り、自分の考えを他者に伝える力を育む。	①話し合いと発表を全授業に取り入れる。 ②ICTを活用した表現方法の工夫。	4   9割以上で表現力指導を徹底。 3   8割以上で表現力指導を徹底。 2   5割以上で表現力指導を徹底。 1   表現力指導の徹底が5割未満。		4   「表現力がついた」と答える生徒が90%以上。 3   「表現力がついた」と答える生徒が70%以上。 2   「表現力がついた」と答える生徒が50%以上。 1   「表現力がついた」と答える生徒が50%未満。						
		主体的に学習に取り組む態度の育成と家庭学習の定着を図る。	①シラバスの作成。 ②シラバスに基づく定期テスト前の学習方法の確認の実施。	4   学習習慣定着のための指導を確実に実施。 3   学習習慣定着のための指導を概ね実施。 2   学習習慣定着のための指導を時々実施。 1   学習習慣定着のための指導がほぼ未実施。		4   家庭学習の時間が「4時間以上」が最も多い。 3   家庭学習の時間が「4時間未満」が最も多い。 2   家庭学習の時間が「3時間未満」が最も多い。 1   家庭学習の時間が「2時間未満」が最も多い。						
豊かな心	全教育活動を通じて、人権教育・心の教育を推進し、自立した人間として、他者とともにによりよく生きるための基盤となる豊かな人間性を育む。	全教育活動を通じて生徒自身が自分を表現し、互いに認め合えるようにする。	①勇気づけ言葉を活用し、頑張らせ、勇気づけ、ほめる指導の実践。 ②勇気づけ言葉を生徒同士での実践。	4   教師・生徒間で勇気づけ言葉が定着。 3   教師から生徒への勇気づけ言葉が定着。 2   教師からのほめる指導を実施。 1   勇気づけ言葉が不足。		4   「学校はあたたかい雰囲気である」と感じる生徒が90%以上。 3   「学校はあたたかい雰囲気である」と感じる生徒が80%以上。 2   「学校はあたたかい雰囲気である」と感じる生徒が50%以上。 1   「学校はあたたかい雰囲気である」と感じる生徒が50%未満。						
		考え、議論する道徳授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。	①内容項目の理解から議論や発問の工夫。	4   内容項目の理解から日常の指導への深化。 3   内容項目の理解が定着。 2   内容項目の指導をしたが理解が不十分。 1   内容項目の理解と指導が不十分。		4   「道徳の授業を生活に活かしている」生徒が80%以上。 3   「道徳の授業を生活に活かしている」生徒が70%以上。 2   「道徳の授業を生活に活かしている」生徒が50%以上。 1   「道徳の授業を生活に活かしている」生徒が50%未満。						
		未然防止に努めながら、いじめへの適切な対応を充実させる。	①安全集会による未然防止の指導の実施。 ②毎月の生活アンケートの実施と校内委員会の定期実施。	4   いじめ問題に早期対応・早期解決。 3   いじめ問題に早期対応・解決に課題。 2   いじめ問題の早期対応に課題。 1   いじめ問題の対応・解決ともに課題。		4   「落ち着いて安心して学校生活が送れている」生徒が90%以上。 3   「落ち着いて安心して学校生活が送れている」生徒が80%以上。 2   「落ち着いて安心して学校生活が送れている」生徒が70%以上。 1   「落ち着いて安心して学校生活が送れている」生徒が70%未満。						
健やかな体	心身共にたくましく、健やかな生徒の育成を図り、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。	体育的な活動を効果的に実施し、体力向上と生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育成する。	①体力向上に係る個人目標の設定。 ②TTを活用した個に応じた指導の充実。	4   目標達成のための積極的な支援の実施。 3   目標達成のための支援の実施。 2   目標を理解し助言の実施。 1   目標を十分把握できず未実施。		4   体力テストで全学年が都標準以上。 3   体力テストで2つの学年が都標準以上。 2   体力テストで1つの学年が都標準以上。 1   体力テストで全学年が都標準未満。						
		安全教育・防災教育を推進し安全意識・防災意識の向上を図る。	①安全指導・避難訓練を月に1回ずつ定期実施。 ②セーフティ教室・災害安全講演の実施。	4   安全意識・防災意識が十分に定着。 3   安全意識・防災意識がおおむね定着。 2   訓練・指導の取り組む様子が不十分。 1   訓練・指導の実施が不十分。		4   「防災の知識が身につく意識が高まった」生徒が90%以上。 3   「防災の知識が身につく意識が高まった」生徒が80%以上。 2   「防災の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%以上。 1   「防災の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%未満。						
		疾病や事故などの未然防止の指導を充実させ、予防に向けた知識と実践力を高める。	①保健だよりを用いた熱中症や感染症の予防の指導の実施。	4   生徒に予防と対応の知識が定着。 3   生徒に予防と対応の知識がおおむね定着。 2   生徒の予防と対応の知識が不十分。 1   教師の予防と対応の指導が不十分。		4   「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が90%以上。 3   「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が80%以上。 2   「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%以上。 1   「予防の知識が身につく意識が高まった」生徒が70%未満。						
輝く未来	学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人に応じた指導・支援を図る。	3年間の系統だったキャリア教育の実施から、夢や目標に向けて努力する力を養う。	①適切な進路指導計画の作成。 ②計画的で丁寧なキャリア教育の推進。	4   生徒に努力する力が定着。 3   生徒に努力する力がおおむね定着。 2   生徒に努力する力が不十分。 1   教師の計画的な指導が不十分。		4   「夢を描き、将来を考えている」生徒が80%以上。 3   「夢を描き、将来を考えている」生徒が70%以上。 2   「夢を描き、将来を考えている」生徒が50%以上。 1   「夢を描き、将来を考えている」生徒が50%未満。						
		生徒個々に寄り添い、生徒自ら適切に進路を選択して努力できる力を養う。	①生徒の個別指導の計画的な実施。 ②三者面談による保護者との連携。	4   個別指導と三者面談を十分に実施。 3   個別指導と三者面談をおおむね実施。 2   個に寄り添う指導が不十分。 1   個と保護者に寄り添う指導が不十分。		4   「先生は相談に乗ってくれる」と答えた生徒が90%以上。 3   「先生は相談に乗ってくれる」と答えた生徒が80%以上。 2   「先生は相談に乗ってくれる」と答えた生徒が70%以上。 1   「先生は相談に乗ってくれる」と答えた生徒が70%未満。						
		生徒理解に基づき、個への配慮が必要な生徒への支援を充実させる。	①特別な支援を要する生徒への子に応じた対応の確認・共有。	4   日常的な特別支援教育の啓発と推進の実践。 3   日常的な特別支援教育を理解し実践。 2   日常的な特別支援教育の理解。 1   日常的な特別支援教育の理解が不十分。		4   「先生は一人一人を理解しようとしている」と答えた生徒が80%以上。 3   「先生は一人一人を理解しようとしている」と答えた生徒が70%以上。 2   「先生は一人一人を理解しようとしている」と答えた生徒が60%以上。 1   「先生は一人一人を理解しようとしている」と答えた生徒が60%未満。						

令和7年度		昭島市立福島中学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表							
学校教育目標		○希望 ○創造 ○潤い	ビジョン	【目指す学校像】		○生徒が生き生きとして、自尊感情を高め、心を開ける学校○生徒・保護者・地域の願いに応え、ともに歩む学校○生徒・保護者・地域・教職員が安心でき、信頼し、躍進できる学校					
				【目指す児童・生徒像】		○自ら学び、自ら考える生徒　○他を思いやり、支え合う生徒　○責任をもち、やりぬく生徒					
				【目指す教師像】		○生徒を第一に考え、生徒の良さを伸ばす教師○自己の資質向上と健康管理に努める教師○和、礼、法を重んじ、信頼される教師					
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	確かな学力の定着を図るために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善を進める。	言語活動や協働学習を通して深い学びにつながる指導を実践する。	授業で、「つかむ・考える・広げる・深める」4ステップ授業を定着する。	4 深まりにつながる4ステップ授業を行った		4 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が90%以上					
		考えを深めるための読解力と表現力を身に付けさせる。	国語科を中心に、読む・書く時間を確保するとともに、発表活動を充実させる。	3 「深める」ための授業の工夫を行った		3 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が75%以上					
				2 主体的で対話的な授業の工夫を行った		2 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が50%以上					
				1 個と集団を意識した授業を行った		1 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が50%未満					
			主体的な学習習慣を基に、主体的に学びに向かう態度を醸成する。	4 深く読み、表現する授業を毎時間展開した		4 考え発表する体験が多いと感じた生徒が80%以上					
				3 深く読み、表現する授業を7割以上行った		3 考え発表する体験が多いと感じた生徒が65%以上					
				2 授業では自分の考えを書く		2 考え発表する体験が多いと感じた生徒が40%以上					
				1 授業では読むこと書くことを大切にした		1 考え発表する体験が多いと感じた生徒が40%未満					
		主体的な学習習慣を基に、主体的に学びに向かう態度を醸成する。	授業のねらいと振り返りを行い、自ら意欲をもって授業や家庭学習を主体的に取り組む。	4 毎時間の振り返りを次時に生かす指導を行った		4 主体的な学習習慣が定着した生徒が90%以上					
				3 毎時間のねらいと既習事項を関連付けた振り返りを行った		3 主体的な学習習慣が定着した生徒が80%以上					
				2 毎時間ねらいを示し、振り返りを行った		2 主体的な学習習慣が定着した生徒が50%以上					
				1 授業のねらいと振り返りを時々行った		1 主体的な学習習慣が定着した生徒が50%未満					
豊かな心	自己有用感を高めることで自尊感情を育み、お互いを大切に尊重できる人間関係を構築する。	考え、議論する道徳授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。	全教員が道徳授業を行う。全教科で内容項目に関連付けて指導する。	4 生徒が考え、気付きのある発問を工夫した		4 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が80%以上					
		一人一人を大切に尊重し、努力を認めて褒めることで自尊感情を育む。	傾聴、共感、認める、助言、実行、賞賛する生徒育成サイクルによる指導を実践する。	3 教材解釈と教材の工夫を十分に行った		3 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が70%以上					
				2 計画通りに22の内容項目を全て扱った		2 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が50%以上					
				1 自分で教材理解をして年間35時間行った		1 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が50%未満					
		気持ちよい挨拶や返事を通して、お互いが快適に過ごせる人間関係を築く。	傾聴、共感、認める、助言、実行、賞賛する生徒育成サイクルによる指導を実践する。	4 生徒育成サイクル指導の実践が定着した		4 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が90%以上					
				3 傾聴、共感、認めるから助言につなげた		3 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が85%以上					
				2 傾聴、共感をし、認める努力をした		2 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が50%以上					
				1 傾聴せずに、すぐ指導・説諭をする		1 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が50%未満					
		気持ちよい挨拶や返事を通して、お互いが快適に過ごせる人間関係を築く。	自らすすんで挨拶や返事をする習慣を身に付けさせる。	4 学校内外では教員自ら挨拶や声かけを行った		4 学校内外で、すすんで挨拶できる生徒が80%					
				3 学校生活での挨拶・返事の指導を徹底した		3 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が80%以上					
				2 授業中の挨拶・返事の指導を徹底した		2 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が50%以上					
				1 挨拶・返事の指導を時々行った		1 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が50%未満					
健やかな体	自らの生活を健康的で健全にするために、体力向上を図り、規則正しい生活を送る。	年間を通して健康に過ごすための基礎体力・持久力の向上を図る。	一人一人に体力向上における目標を設定させ、主体的に運動する習慣を身に付ける。	4 一つ一つの運動の効果や取組方法を徹底指導した		4 運動を主体的に取り組む生徒が90%以上					
		食事や睡眠を大切にし、自らの健康増進に努める生徒を育てる。	栄養士と食への取組を行い、保護者には早寝・早起き・朝ご飯の協力を求める。	3 体力向上のために個に応じた方法を指導した		3 運動を主体的に取り組む生徒が70%以上					
				2 体力向上の意義と取組み方法を指導した		2 運動を主体的に取り組む生徒が50%以上					
				1 体力向上のための指導した		1 運動を主体的に取り組む生徒が50%未満					
		SNSの利活用について考え、規則正しい生活を送らせる。	SNS学校ルール of の定着及び家庭ルールの定着を図る。	4 学級で食の大切さと残さず食べる指導を徹底した		4 学んだ知識を生活に活かしている80%以上					
				3 学級で食の大切さと残さず食べる指導をした		3 学んだ知識を生活に活かしている70%以上					
				2 学級で残さず食べる指導に取り組んだ		2 学んだ知識を生活に活かしている60%以上					
				1 学級で食育指導を定期的に行った		1 学んだ知識を生活に活かしている%60未満					
		SNSの利活用について考え、規則正しい生活を送らせる。	SNS学校ルール of の定着及び家庭ルールの定着を図る。	4 SNSルールの徹底を家庭に指導した		4 SNSルールを意識している生徒が80%以上					
				3 SNSルールを学級で指導・徹底した		3 SNSルールを意識している生徒が60%以上					
				2 SNS家庭ルールの作成を学級で指導した		2 SNSルールを意識している生徒が50%以上					
				1 SNS学校ルールを学級で指導した		1 SNSルールを意識している生徒が50%未満					
輝く未来	家庭・地域との連携を進め、将来にむけて確かな夢をもてるような人格形成を図る。	家庭・地域との信頼関係を深めるために情報発信を行い、意見を求める。	学校・学年だよりの発行、ホームページの更新を毎月行い、読者意見に丁寧に対応する。	4 毎月発行・更新し、地域からの意見に対応した		4 学校の教育活動に安心している保護者が90%以上					
		キャリア教育によって夢をもち、実現に向けて努力する生徒を育成する。	総合的な学習の時間及び進路学習を通して、将来について具体的に考えさせる。	3 学校・学年だよりとHP更新は毎月1回以上行った		3 学校の教育活動に安心している保護者が80%以上					
				2 学校・学年だよりは毎月1回以上発行した		2 学校の教育活動に安心している保護者が60%以上					
				1 学校だよりは毎月1回以上発行した		1 学校の教育活動に安心している保護者が60%未満					
		9年間を見通した計画的な指導を行い、地域との関わりを深めていく。	福島中グループの小中連携教育における3つのスタンダードを定着する。	4 将来の夢の実現に向けた計画づくりを指導した		4 夢に向けてキャリアプランを作った生徒が55%以上					
				3 将来の自分を考えさせる指導を行った		3 将来の夢を具体的に考えた生徒が80%以上					
				2 自分の良さや適正を知る指導を行った		2 将来の夢を見付けるために進路学習を行った					
				1 働く意義や職業について考えさせる		1 将来の夢を見付けるために進学先を考えた					
		9年間を見通した計画的な指導を行い、地域との関わりを深めていく。	福島中グループの小中連携教育における3つのスタンダードを定着する。	4 スタンダードを周知・徹底し、小学校との実践を深めた		4 スタンダードを実践し定着した					
				3 スタンダードを徹底するために家庭協力を求めた		3 スタンダードを生徒・家庭が実践した					
				2 スタンダード定着に向けクラスで指導・徹底した		2 スタンダードを家庭が理解できた					
				1 スタンダードの内容を生徒に理解させた		1 スタンダードを生徒が理解できた					







令和7年度		昭島市立清泉中学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表							
学校教育目標		人権尊重の精神を基調として、社会において信頼される人間性豊かな生徒の育成を目指す	ビジョン	【目指す学校像】		生徒にとっても教職員にとっても、さらには家庭・地域にとっても「楽しく」、「学び、集いあえる」学校 1、学校は「成長を実感できる場」 2、学校は「自己実現できる場」 3、学校は「夢や機能をはぐくむ場」 4、学校は「安心して安全に生活できる場」 5、学校は「『意外性』と『多様性』を生かしていく場」					
				【目指す児童・生徒像】		「豊かに、たくましく そして 創造的」な生徒					
				【目指す教師像】		【15歳の生徒の姿に責任をもつ教師】1、生徒一人一人を大切にする教師 2、1時間1時間の授業を大切にする教師 3、生徒・家庭・地域から信頼される教師 4、「和」を重んじ、チームのために自己の力を発揮できる教師 5、清泉中を愛する教師					
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能の習得 思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学ぶ態度の育成と学習意欲の向上を図る。	自分の考えを生かす「学び」がある	・学級・授業における考えを発表する場の設定 ・学年、学校全体での発表会の設定	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答					
		個別最適な学びがある	・ICTの効果的な活用 ・学習教室、自主教室 ・指導方法の開発	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 90%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 70%未満の生徒が肯定的な回答					
		つまづきをチャンスに次の手立てを考える「学び」がある	・GOALの明確化 ・プロセス評価 ・自己調整をする機会	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答					
豊かな心	落ち着いた学校生活の実現を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を高め、豊かな心の育成を図る。	規範意識のある自己肯定感、自己有用感を醸成する	・ルールを生徒自らが考え、守る活動を実施 ・マナーを考え人との関わりの中で自己の役割を理解する学びの充実	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答					
		生徒との対話(非言語も含む)を通じて、生徒理解を図る	・給食や清掃の時間等の生徒とのコミュニケーションを重視 ・QU等データの活用	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答					
		校内の言語環境を重視する	・人権教育を推進 ・道徳の授業の充実 ・校内の言語環境の整備	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 65%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 50%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 50%未満の生徒が肯定的な回答					
健やかな体	心身ともにたくましく、健やかな生徒の育成を図る。	体を動かすことが好きという気持ちを醸成する	・自治的活動の重視 ・特別活動の重視	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 65%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 50%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 50%未満の生徒が肯定的な回答					
		食の大切さを理解し、実践する姿勢を育む	・自治的活動の重視 ・献立コンクールの実施	4 自己評価4段階平均値3.6以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.4以上		3 65%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.2以上		2 50%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.2未満		1 50%未満の生徒が肯定的な回答					
		何事にもあきらめない心を醸成する	・スモールステップを意識した課題の設定	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答					
輝く未来	生徒一人ひとりの夢と希望を育むために、3年間の見通しに立った進路指導の実現を図る。	生徒自身が自分の可能性やよさ(強み)を考える機会を充実する	・貢献活動の充実 ・キャリア教育の充実 ・職場体験の実施	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 90%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 75%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答					
		「何のために」を意識する「学び」がある	・SDGsの学びの重視 ・生き方探究学習の実施	4 自己評価4段階平均値3.8以上		4 90%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.6以上		3 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.4以上		2 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.4未満		1 70%未満の生徒が肯定的な回答					
		体験活動や地域人財(材)とふれあい、学ぶ機会がある	・コミュニティ・スクールの利点を生かしたプログラムの実施 ・行事の見直し	4 自己評価4段階平均値3.5以上		4 80%以上の生徒が肯定的な回答					
				3 自己評価4段階平均値3.3以上		3 70%以上の生徒が肯定的な回答					
				2 自己評価4段階平均値3.1以上		2 60%以上の生徒が肯定的な回答					
				1 自己評価4段階平均値3.1未満		1 60%未満の生徒が肯定的な回答					

令和7年度			昭島市立拝島中学校		学校経営重点計画(教育推進計画)計画表									
学校教育目標		勉学 敬愛 至誠 健康	よく考え正しく判断できる人 人を敬愛し愛と慈しみのある人 誠実で責任感の強い人 健康で心身ともにたくましい人	ビジョン	【目指す学校像】		(1) 自ら課題を解決する姿勢の育成(2) 共生的な態度の育成(3) 地域・保護者に信頼され、ともに歩む学校							
					【目指す児童・生徒像】		(1) 主体的に学ぶ生徒(2) 言葉を通して関係をよりよくする生徒(3) 自分自身を調整する生徒(4) 未知の状況に対応できる生徒							
					【目指す教師像】		(1) 温かく厳しく指導する教師(2) 工夫と改善を心がける教師(3) 服務に厳正な教師							
領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標		評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策		
確かな学力	基礎的・基本的な知識や技能の習得及び思考力・判断力・表現力等の育成	目標の明示と振り返りの工夫から指導と評価の一体化や授業改善を図る	学習目標を提示し、振り返りを工夫することで、理解を深める	4	授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(9割)		4	授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(9割)						
				3	授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(8割)		3	授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(8割)						
				2	授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(5割以上)		2	授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(5割以上)						
				1	授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(5割未満)		1	授業の流れを明示し、振り返りを工夫した(5割未満)						
		思考力・判断力・表現力等の育成	書くこと、話し合うこと、発表すること、ICTの活用等により、思考力等を育成する	4	思考力等を育成する活動をした(9割)		4	思考力等を育成する活動をした(9割)						
				3	思考力等を育成する活動をした(8割)		3	思考力等を育成する活動をした(8割)						
				2	思考力等を育成する活動をした(5割以上)		2	思考力等を育成する活動をした(5割以上)						
				1	思考力等を育成する活動をした(5割未満)		1	思考力等を育成する活動をした(5割未満)						
		主体的に学習に取り組む態度の育成と家庭学習の定着	「学習の手引き」の活用や各教科からの課題を通した学習習慣の育成	4	学習習慣を定着させる指導の実施(9割)		4	家庭学習の習慣がついた(9割)						
				3	学習習慣を定着させる指導の実施(8割)		3	家庭学習の習慣がついた(8割)						
				2	学習習慣を定着させる指導の実施(5割以上)		2	家庭学習の習慣がついた(5割以上)						
				1	学習習慣を定着させる指導の実施(5割未満)		1	家庭学習の習慣がついた(5割未満)						
豊かな心	他を思いやる心を持ち、適切な判断ができる生徒の育成	人権尊重を重視する視点から、生命の尊重と共生の姿勢を育成する。	「人権教育プログラム」の活用や環境(言語、文章、掲示物等)の整備	4	人権感覚の育成に努めた(9割)		4	人を思いやる心が身に付いた(9割)						
				3	人権感覚の育成に努めた(8割)		3	人を思いやる心が身に付いた(8割)						
				2	人権感覚の育成に努めた(5割以上)		2	人を思いやる心が身に付いた(5割以上)						
				1	人権感覚の育成に努めた(5割未満)		1	人を思いやる心が身に付いた(5割未満)						
		他者理解を心がけ、人間関係における課題を見つけ、解決する生徒の育成	学級活動、学校行事、生徒会活動等における人間関係の構築	4	生徒が協力して活動する場面が見られた(9割)		4	行事等で協力して活動することができた(9割)						
				3	生徒が協力して活動する場面が見られた(8割)		3	行事等で協力して活動することができた(8割)						
				2	生徒が協力して活動する場面が見られた(5割以上)		2	行事等で協力して活動することができた(5割以上)						
				1	生徒が協力して活動する場面が見られた(5割未満)		1	行事等で協力して活動することができた(5割未満)						
		考え、議論する道徳の授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。	内容項目に即した発問や話し合い活動の工夫	4	発問や話し合い活動の工夫をした(9割)		4	道徳の授業で自分の考えが深まった(9割)						
				3	発問や話し合い活動の工夫をした(8割)		3	道徳の授業で自分の考えが深まった(8割)						
				2	発問や話し合い活動の工夫をした(5割以上)		2	道徳の授業で自分の考えが深まった(5割以上)						
				1	発問や話し合い活動の工夫をした(5割未満)		1	道徳の授業で自分の考えが深まった(5割未満)						
健やかな体	心身ともにたくましく、健やかな生徒の育成を図り、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を養う。	体育的活動等における事故の防止	授業、行事、部活動等における事故の未然防止(不適切な指導の根絶)	4	事故の未然防止に努めた		4	事故(問題)は、なかった						
				3			3							
				2			2							
				1	事故を未然に防止できなかった		1	事故(問題)があった						
		学校内外での事故の防止	交通事故や不審者被害防止に向けた指導	4	事故(被害)の未然防止に努めた		4	事故(被害)は、なかった						
				3			3							
				2			2							
				1	事故(被害)を未然に防止できなかった		1	事故(被害)があった						
		SNSの活用について考え、規則正しい生活を送らせる。	SNS学校ルール、家庭ルールの定着を図る。	4	SNSルール(学校、家庭)を理解している(9割)		4	SNSの使用に問題(トラブル)がなかった						
				3	SNSルール(学校、家庭)を理解している(8割)		3	SNSの使用に問題(トラブル)がほとんどなかった						
				2	SNSルール(学校、家庭)を理解している(5割以上)		2	SNSの使用に問題(トラブル)が時々あった						
				1	SNSルール(学校、家庭)を理解している(5割未満)		1	SNSの使用に問題(トラブル)が度々あった						
輝く未来	生徒が自らの将来に向けて希望をもって卒業する。	キャリア教育の計画的な推進と夢の実現に向けて努力する生徒の育成	適切な進路指導計画の作成等とキャリアパスポートの活用	4	生徒が主体的に取り組めるように指導した(9割)		4	進路の選択について、主体的に取り組んだ(9割)						
				3	生徒が主体的に取り組めるように指導した(8割)		3	進路の選択について、主体的に取り組んだ(8割)						
				2	生徒が主体的に取り組めるように指導した(5割以上)		2	進路の選択について、主体的に取り組んだ(5割以上)						
				1	生徒が主体的に取り組めるように指導した(5割未満)		1	進路の選択について、主体的に取り組んだ(5割未満)						
		いじめの未然防止や早期解決に努めるとともに、個に応じた不登校対応を行う。	「学校いじめ対策の日」、早期発見、スクールカウンセラー等との連携の実施	4	適切に行った		4	問題は、なかった						
				3			3							
				2			2							
				1	適切に行うことができなかった		1	問題があった						
		生徒理解に基づき、配慮が必要な生徒への支援を行う	適切な指導(配慮)の手法の理解と実施、外部機関との連携	4	適切に行った		4	先生は生徒一人一人のことを考えてくれている(9割)						
				3			3	先生は生徒一人一人のことを考えてくれている(8割)						
				2			2	先生は生徒一人一人のことを考えてくれている(5割以上)						
				1	適切に行うことができなかった		1	先生は生徒一人一人のことを考えてくれている(5割未満)						

令和7年度

昭島市立多摩辺中学校

学校経営重点計画(教育推進計画)計画表

学校教育目標	進んで勉強しよう 思いやりのある人になろう 進んで心身をきたえよう	ビジョン	【目指す学校像】	1生徒が安全で安心して生活できる学校 2将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと生活できる学校 3伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域が共に支え合う学校
			【目指す児童・生徒像】	1探求心・創造性をもち、学び続ける生徒 2多様性を認め、正義を大切にできる生徒 3心身の健康を目指し、己を鍛える生徒
			【目指す教師像】	1人権を重んじ、生徒一人一人の良さを認め、言葉を大切にする教師 2専門性、指導力を磨き合い、組織として高め合う教師 3豊かな人間性を備え生徒・保護者・地域から信頼される教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	基礎的・基本的な知識・技能の確実な育成と個に応じた指導の充実	わかる授業を目指した指導方法及び「振り返り」の工夫改善	学びを深める効果的な「振り返り」の実践	4 定期的に授業の分析・改善を行った90%以上		4 「振り返り」が学習の定着に役立っている90%以上					
				3 定期的に授業の分析・改善を行った80%以上		3 「振り返り」が学習の定着に役立っている80%以上					
				2 定期的に授業の分析・改善を行った70%以上		2 「振り返り」が学習の定着に役立っている70%以上					
				1 定期的に授業の分析・改善を行った70%未満		1 「振り返り」が学習の定着に役立っている70%未満					
		ICT機器を効果的に活用した多様な指導方法の実践	デジタル教材やアプリを活用した学習効率を高める授業の実施	4 生徒の意欲と理解を促すICT機器の活用に努めた「はい」が80%		4 タブレットを活用したわかりやすい学習活動95%以上					
				3 生徒の意欲と理解を促すICT機器の活用に努めた「はい」が70%		3 タブレットを活用したわかりやすい学習活動90%以上					
				2 生徒の意欲と理解を促すICT機器の活用に努めた「はい」が60%以上		2 タブレットを活用したわかりやすい学習活動80%以上					
				1 生徒の意欲と理解を促すICT機器の活用に努めた「はい」が60%未満		1 タブレットを活用したわかりやすい学習活動80%未満					
		学習意欲の向上と家庭学習の定着	課題の出し方の工夫と学習計画表の活用	4 家庭学習への指導を毎週行った80%以上		4 家庭学習の時間が平均1～2時間が80%以上					
				3 家庭学習への指導を毎週行った70%以上		3 家庭学習の時間が平均1～2時間が70%以上					
				2 家庭学習への指導を毎週行った65%以上		2 家庭学習の時間が平均1～2時間が60%以上					
				1 家庭学習への指導を毎週行った65%未満		1 家庭学習の時間が平均1～2時間が60%未満					
豊かな心	自らを高め、多様性を尊重する態度と豊かな感性、創造力、表現力の育成	生命尊重の精神の育成を基盤とした高い人権感覚を培う教育活動の実践	いじめ根絶の働き掛けとふれあい月間の取組の充実	4 生徒の変化を見逃さないように努めた100%		4 落ち着いて安心して生活できている100%					
				3 生徒の変化を見逃さないように努めた95%以上		3 落ち着いて安心して生活できている95%以上					
				2 生徒の変化を見逃さないように努めた90%以上		2 落ち着いて安心して生活できている90%以上					
				1 生徒の変化を見逃さないように努めた90%未満		1 落ち着いて安心して生活できている90%未満					
		多様で豊かな教育活動による自己有用感の醸成	集団の一員としての自覚をもち、個性を認め、協力し合える生徒の育成	4 生徒の心に寄り添い、良さを活かす支援を行った「はい」が80%以上		4 他者と協力し、達成感を味わえる体験ができた100%以上					
				3 生徒の心に寄り添い、良さを活かす支援を行った「はい」が70%		3 他者と協力し、達成感を味わえる体験ができた90%以上					
				2 生徒の心に寄り添い、良さを活かす支援を行った「はい」が60%以上		2 他者と協力し、達成感を味わえる体験ができた80%以上					
				1 生徒の心に寄り添い、良さを活かす支援を行った「はい」が60%未満		1 他者と協力し、達成感を味わえる体験ができた80%未満					
		他者理解を心掛け人間関係における課題を見つけ解決していく生徒の育成	学級活動・行事・生徒会活動・部活動等における円滑な人間関係の構築	4 生徒一人一人が活躍できる教育活動を行った「はい」が80%以上		4 行事、学級活動を通して思いやりのある行動がとれた100%					
				3 生徒一人一人が活躍できる教育活動を行った「はい」が70%以上		3 行事、学級活動を通して思いやりのある行動がとれた95%以上					
				2 生徒一人一人が活躍できる教育活動を行った「はい」が65%以上		2 行事、学級活動を通して思いやりのある行動がとれた90%以上					
				1 生徒一人一人が活躍できる教育活動を行った「はい」が65%未満		1 行事、学級活動を通して思いやりのある行動がとれた90%未満					
健やかな体	健康的な生活習慣・食習慣による、心身ともに健やかな生徒の育成	自ら健康管理のできる生徒の育成	早寝・早起き・朝ごはんの取組の働きかけ	4 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した95%以上		4 自ら進んで生活習慣の改善に努めた95%					
				3 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した85%以上		3 自ら進んで生活習慣の改善に努めた90%以上					
				2 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した80%以上		2 自ら進んで生活時間の改善に努めた85%以上					
				1 生徒の生活習慣の改善を助言・指導した80%未満		1 自ら進んで生活習慣の改善に努めた85%未満					
		食に関する知識・理解・実践力を高め、健康的な食生活の推進	栄養士と食育担当の連携による給食指導を活用した食育の推進	4 食事のマナーや食文化等の指導を行った100%以上		4 食育で学んだ知識を生活に生かしている100%					
				3 食事のマナーや食文化等の指導を行った90%以上		3 食育で学んだ知識を生活に生かしている90%以上					
				2 食事のマナーや食文化等の指導を行った80%以上		2 食育で学んだ知識を生活に生かしている80%以上					
				1 食事のマナーや食文化等の指導を行った80%未満		1 食育で学んだ知識を生活に生かしている80%未満					
		体力向上に向けた教育活動の推進	体育の授業、行事、昼休みの校庭開放、部活動等を通じた運動習慣の確立	4 運動に親しむ取り組みを行った90%以上		4 学校でたくさん体を動かしている90%以上					
				3 運動に親しむ取り組みを行った80%以上		3 学校でたくさん体を動かしている80%以上					
				2 運動に親しむ取り組みを行った75%以上		2 学校でたくさん体を動かしている70%以上					
				1 運動に親しむ取り組みを行った75%未満		1 学校でたくさん体を動かしている70%未満					
輝く未来	自己を見つめ、生き方を考えていくための資質・能力の育成	自己の将来を切り拓く、キャリア教育の推進	総合的な学習の時間を活用した自らの生き方を考え、自己決定していく指導の推進	4 生徒が主体的に課題解決できるように指導した80%以上		4 自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う100%					
				3 生徒が主体的に課題解決できるように指導した70%以上		3 自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う95%以上					
				2 生徒が主体的に課題解決できるように指導した60%以上		2 自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う90%以上					
				1 生徒が主体的に課題解決できるように指導した60%未満		1 自分の生活を振り返り、よりよくしようと思う90%未満					
		自身の変容や成長を自己評価する取り組みの充実	行事や学期ごとのキャリアパスポートの活用	4 計画的にキャリアパスポートを活用した90%以上		4 自分の得意なことを考えることができた100%					
				3 計画的にキャリアパスポートを活用した80%以上		3 自分の得意なことを考えることができた95%以上					
				2 計画的にキャリアパスポートを活用した70%以上		2 自分の得意なことを考えることができた90%以上					
				1 計画的にキャリアパスポートを活用した70%未満		1 自分の得意なことを考えることができた90%未満					
		目標達成までのプロセスを重視した指導の充実	生徒や保護者に寄り添い、丁寧かつ誠実な進路指導の実施	4 生徒が主体的に取り組めるよう指導した85%以上		4 将来の生き方について自ら進んで考えた95%以上					
				3 生徒が主体的に取り組めるよう指導した75%以上		3 将来の生き方について自ら進んで考えた90%以上					
				2 生徒が主体的に取り組めるよう指導した65%以上		2 将来の生き方について自ら進んで考えた80%以上					
				1 生徒が主体的に取り組めるよう指導した65%未満		1 将来の生き方について自ら進んで考えた80%未満					